

# バーコードリーダー パラメータ設定ガイド

## 対応機種

ultra-3220

SSHC65/SSHC65L

AID-3000/AID-3000(02)

AID-3001/AID-3001(02)

AID-3010/AID-3010(02)

TS-30/Z-5130

TS-131M/Z-5111



**SIAA**  
ISO22196  
for KOHKIN

無機抗菌剤・練込・ハウジング  
JP0122209A0001S

SSHC65/65VはSIAA登録製品です

SIAAマークは、  
ISO22196法  
により評価され  
た結果に基づ  
き、抗菌製品技  
術協議会ガイド  
ラインで品質管  
理・情報公開さ  
れた製品に表示  
されています。



**ウェルコムデザイン株式会社**

本社 〒651-2242 神戸市西区井吹台東町1-1-1 西神南センタービル

SDC 〒651-2102 神戸市西区学園東町6丁目2-3-1F

TEL. 078-993-6010(代) FAX. 078-993-6020 [本社 & SDC]

(※) SDC stands for Support and Delivery Center

URL: [www.e-welcom.com](http://www.e-welcom.com)  
e-mail: [welcom@e-welcom.com](mailto:welcom@e-welcom.com)

東京 〒113-0034 東京都文京区湯島3-14-9 湯島ビル  
TEL. 03-3836-9411(代) FAX. 03-3836-9412

改訂記録	
改訂番号	改訂日
Rev.1.0	2008/05/01 (初版)
Rev.1.1	2008/05/10 P.49 シリアルコマンド 説明修正
Rev.1.2	2008/05/26 P.43 HT03/04 コマンド バージョン 修正 P.49 シリアルコマンド に関する注意 1 行削除
Rev.1.3	2008/06/02 コマンド バージョン「設定中止」を「設定キャンセル」に表記変更、また、コマンド バージョン「設定キャンセル」の説明も一部修正
Rev.1.4	2008/06/10 P.20 日本語キーボード (106/109 キーボード) 設定 バージョン を修正
Rev.1.5	2008/06/17 P.3 レザに関する注意を削除
Rev.1.6	2008/06/18 P.50 補足 D 標準 RS232C インターフェイスケーブルのピン配列を追加
Rev.1.7	2008/07/16 P.16 非対応のため、600bps, 300bps コマンド バージョン 削除
Rev.1.8	2008/08/01 P.15 USB OPOS インターフェイス コマンド バージョン 追加
Rev.1.9	2008/09/26 パワーセーブモードの設定を追加 インクストリクル 2/5 の設定を追加
Rev.2.0	2008/10/27 P.35 照合回数コマンド バージョン 修正
Rev.2.1	2008/12/19 P.40 COOP 2/5 デフォルト値修正(デフォルト 読み取り無し)
Rev.2.2	2009/01/13 P.10 ニックネーム設定コマンド バージョン を追加 P.51 「C.2 プザークコマンド」を追加 P.52 「C.3 LED コマンド」、「C.4 その他のコマンド」を追加
Rev.2.3	2009/01/20 P.16 OPOS に関する注記を追加
Rev.2.4	2009/05/19 P.41 USB インターフェイスに関する脚注を追加
Rev.2.5	2009/05/22 P.27, 31, 33 TS-30 (Ver. 2.18 以降)に関する脚注を追加
Rev.2.6	2009/07/09 P.39 新雑誌コード (491) 読み取り設定を追加
Rev.2.7	2009/07/17 P.11 GR05 無音 (ビープ無し) コマンド バージョン を P.12 から削除し、P.11 に追加
Rev.2.8	2009/08/19 P.14 TS-30 に関する脚注を追加
Rev.2.9	2009/02/17 AID-3000(02)/3001(02)/3010(02) 及び TS-5111/5130 に対応し、「8. 拡張機能」を追加 2009/02/18
Rev.3.0	P.19 RTS/CTS ステータスを追加
Rev.3.1	P.58 8.7. バージョン ツボ 個別桁数送信を追加
Rev.3.2	P.15 4.3. 同一バージョン 読み取り防止タイマ 1.5 秒~5 秒を追加
Rev.3.3	P.49, 51 コマンド バージョン 一部修正
Rev.3.4	2010/07/29 数値バージョン、フルスケールバージョン 表のバージョン イメージ を修正
Rev.3.5	2010/08/01 GS1 AI 編集機能、ファンクション-インクレーション(新)に対応
Rev.3.6	2010/08/24 P.10 Ultra Scan データインク コマンド バージョン を追加
Rev.3.7	2010/10/05 P.10 USB ファームウェアアップデート コマンド バージョン を追加
Rev.3.8	2011/03/01 SuperiorScan™ SSHC65 に対応 フックアップモード 移行タイマ 1, 3, 5, 105, 10, 15, 20, 25, 30, 60 → 1, 3, 5, 10, 20, 25, 30 に修正
Rev.3.9	2011/12/28 P.10 アウトオブスキャン/ハイライト コマンド バージョン を追加
Rev.4.0	2012/01/24 表紙 SIAA マークを追加
Rev.4.1	2012/06/11 P.53 ultra-3220 シリーズに関する注釈を追加
Rev.4.2	P.43 印刷コマンド 出力送信のデフォルト値を修正
Rev.4.3	SSHC65LV に対応
Rev.4.4	NW7, コード 128 に追加チェック用コマンド バージョン を追加
Rev.4.5	P.67, 68 出力例を修正
Rev.4.6	P.15 オートレスモード (SM12) を追加
Rev.4.7	2014/09/17 P.10 システムコマンド (WN4301/4303) を追加
Rev.4.8	2015/04/10 3.6. グッドリッド バイレーション (バイブ) 搭載モデルのみに注意を追記
Rev.4.9	2015/11/17 P.50, 51 GS1 Databar 補足を追記
Rev.5.0	2016/5/26 P.10 システムコマンド 追加・修正 P.43 照合回数追加

## 製品保証と注意事項

### 「保証期間」

本製品の保証期間は、ご購入日より1ヶ年とさせていただきます。

### 「保証範囲」

保証期間中に納入者側の責により故障を生じた場合は、納入者側において機器の修理または交換を行います。但し、保証期間内であっても、次に該当する場合は、保証対象から除外させていただきます。

- 需要者側の不適当な取り扱いならびに使用
- 故障の原因が納入者以外の事由による場合
- 外装部品の損傷
- 自然劣化・消耗部品
- 需要者側で改造・修理を行った場合
- 天災地変による場合

尚、ここでいう保証は納入品単体の保障を意味するもので、納入品の故障により誘発される損害はご容赦いただきます。

### 「修理」

修理は全てドック方式で行います。現地での出張修理などは一切行いません。

### 「電波障害自主規制について」

本装置は米国通信規制「FCC 第15条補足J」による計算機器制約条件に適合しております。商業環境での使用において妥当な保護措置がなされています。しかし、住宅地域でのご使用は妨害（ラジオテレビなどの受信障害）が起こることがあります。

### 「その他」

- 納入品の価格には、サービス費用は一切含んでおりません。

1. 本書の内容に関しては、将来予告無しに変更することがあります。
2. 本取扱説明書の全部又は一部を無断で複製することはできません。
3. 本書内に記載されている製品名等の固有名詞は各社の商標又は登録商標です。
4. 本書内において、万一誤り、記載漏れなどお気づきのことがありましたらご連絡ください。
5. 運用した結果の影響について、責任を一切負いかねます。

## 安全上の注意

安全にお使い頂くために必ずお守りください。

警告・注意表示は、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぐために守って頂きたい事項を示しています。  
 その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから、本文をお読み下さい。

	警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると傷害を負う可能性が想定される内容および物的損傷の発生が想定される内容を示しています。

### 絵記号の意味

	<注意> 一般的な注意、警告、危険の通知を示しています。		<禁止> 一般的な禁止を示しています。
	<発火注意> 発火の可能性が想定されることを示しています。		<水気禁止> 風呂、シャワーなどの水気の多い場所での使用を禁止することを示しています。
	<感電注意> 感電の可能性が想定されることを示しています。		<分解禁止> 製品の分解や改造を禁止することを示しています。
	<破裂注意> 破裂の可能性が想定されることを示しています。		<ケガ注意> 指を挟まれるなど、ケガを負う可能性が想定されることを示しています。

 警告

■本装置を絶対に分解しないで下さい。故障・感電（火災）の原因になります。



■直射日光が長時間当たる場所、粉塵の多い場所、湿気が異常に多い場所、水を扱う場所、暖房機器などの発熱物の近くなでは使用しないで下さい。故障・感電（火災）の原因になります。



■ケーブルに重いものを載せないで下さい。また、ケーブルをねじったり、強く引っ張ったりしないで下さい。ケーブルの被覆破れや断線が発生し、故障・感電（火災）の原因になります。



■引火性のガスや発火性の物質のある場所及び薬品や化学物質などを扱う場所では、絶対に使用しないで下さい。火災・爆発・故障の原因になります。



■故障した状態のまま使用しないで下さい。異臭がする、煙が出たなどの異常が生じた時は、すぐに接続している機器の電源をOFFにし、コネクタを抜いて下さい。感電（火災）の原因になります。



## 注意

■使用可能な温度・湿度内で使用して下さい。故障の原因になります。



■濡れた手でケーブルの接続や取り外しを行わないで下さい。故障・感電の原因になります。



■長期的な振動（バイクの荷台や自転車での移動）や強いショック（落下）を与えないで下さい。故障の原因になります。



■温度が激しく変化する場所（夏場の車内）や熱器具など熱を発生する物の近くに放置しないで下さい。装置のケースが変形したり、故障の原因になります。



■不安定な場所（棚など）でのご使用や保管は避けて下さい。不用意な落下による故障やけがの原因になります。



■揮発性の高い有機溶剤（シンナー・ベンジンなど）や薬品、化学雑巾で拭かないでください。また、殺虫剤を吹きかけないで下さい。ケースの変形や変色の原因になります。



**INDEX**

1. はじめに	9
2. システムソフト	10
3. 一般動作に関するパラメータ	11
3.1. グットリードヒープの音色	11
3.2. グットリードヒープの長さ	11
3.4. グットリードヒープの音量	12
3.5. グットリードヒープ & グットリード LED の出力タイミング	12
3.6. グットリードバンプレション(バンプ搭載モデルのみ)	12
3.7. グットリードバンプレションタイマー(バンプ搭載モデルのみ)	13
3.8. パワーアップヒープ	13
3.9. パワーセーブモード (TS-131M/Z-5111 ONLY)	14
4. 読み取り動作に関するパラメータ	15
4.1. 読み取りモード	15
4.2. トリガモード読み取りタイマー	16
4.3. オートスキャンモードフラッシュ移行タイマー	17
4.4. オートスキャンモードフラッシュ速度 (SSHC65 ONLY)	17
4.5. 同一バーコード読み取り防止タイマー	18
4.6. テストモードホンの機能割り付け (TS-30 /Z-5130 ONLY)	18
5. インターフェイスに関するパラメータ	19
5.1. インターフェイスの選択	19
5.2. RS232C インターフェイス	20
5.2.1. ホールレート	20
5.2.2. パリティ	20
5.2.3. テーラビット	21
5.2.4. ストップビット	21
5.2.5. BEL 受信動作	21
5.2.6. ハンドシェイク	22
5.2.7. ACK/NAK 応答待ちタイマー	22
5.2.8. アルファベット大文字/小文字変換送信	23
5.2.9. ハッター/ターミネータ	23
5.3. USB キーボード & キーボード インターフェイス	24
5.3.1. USB 送信速度	24
5.3.2. キーボードタイプ	24
5.3.3. CAPS ロック状態	24
5.3.4. ファンクションキー-イミュレーション	25
5.3.5. 数字データ送信方法	25
5.3.6. アルファベット大文字/小文字変換送信	25
5.3.7. ハッター/ターミネータ	26
6. バーコードシホルに関するパラメータ	27
6.1. コーダバ (NW7)	27
6.2. コード 39/コード 32 (イタリニアコード)	29
6.3. コード 93	31
6.4. コード 128/GS1-128 (EAN-128)	33
6.5. チャイナコード	35
6.6. MSI/Plessey コード	37
6.7. インターリーブド 2/5	39
6.8. インターストリアル 2/5	41
6.9. JAN/EAN/UPC	42
6.10. COOP 2/5 (NEC 2/5)	44

7. データフォーマット/データ送信に関するパラメータ	45
7.1. キャラクタ間送信デレイ	45
7.2. メッセージ間送信デレイ	45
7.3. コード ID 送信	46
7.4. ユーザーコード ID	47
7.5. フリックス/ホストフリックス	48
7.6. 桁数送信	48
7.7. データ抽出	49
8. 拡張機能	50
8.1. GS1-128 拡張オプション	50
8.2. GS1 Databar 読み取りオプション	50
8.2.1. GS1 Databar 読み取りオプション	50
8.2.2. GS1 Databar リミット 読み取りオプション	51
8.2.3. GS1 Databar Iクスパントット 読み取りオプション	51
8.3. GS1 Databar 拡張オプション	52
8.4. 利用者限定機能	53
8.5. 1:1 照合機能	54
8.6. マスタ照合機能	59
8.7. バージョンシリアル個別桁数送信	64
8.8. ファクシオンキ-イミュレーション(新)	65
8.9. GS1 AI 編集機能	65
8.9.1. GS1 AI 編集機能設定例	67
AI03 = 出力ポート (AI) モード	67
AI02 = 出力ポート 他レタモード / 他レタ カマ(,)	67
AI02 = 出力ポート 他レタモード / 他レタ TAB	67
AI02 = 出力ポート 他レタモード / 他レタ STX/ETX	68
AI02 = 出力ポート 他レタモード / AI11 = 任意 AI 他レタ(ハツダ #\$, フツダ %&)	68
補足 A. キーボードコード表	70
補足 B. ASCII コード表	71
補足 C. アルファベットコード表	72
補足 D. シリアルポート	76
補足 D.1. トリガポート	76
補足 D.2. フォーザポート	76
補足 D.3. LEDポート	77
補足 D.4. バイポーラポート	77
補足 D.5. その他のポート	77
補足 E. 標準 RS232C インターフェイスケーブルのピン配列	78
補足 F. サブパラコード	79
修理依頼書	81



## 1. はじめに

この度は、弊社バーコードリーダーをお買い上げいただきありがとうございます。  
本書は、バーコードリーダーのパラメータ設定を行うために用意された別冊ガイドです。基本的な導入方法に関しては、製品に同梱されている導入ガイドを参照ください。

本書に掲載しているマストバーコードを読み取ることで、バーコードリーダーのインターフェイスや読み取りに関するパラメータ設定が行えます。設定されたパラメータは、不揮発性メモリに保存されるため、電源を切にして設定が消えることはありません。

## 2. システムコマンド









設定開始 	設定終了 	全デフォルト 	設定キャンセル 
コマンドバーコード		説明	
		<u>ファームウェアバージョン</u> 左記のバーコードをスキャンすると、ファームウェアバージョンを出力します。	
		<u>カスタムデフォルトとして保存</u> 左記のバーコードをスキャンすると、パラメータ変更内容をカスタムデフォルトとして保存します。	
		<u>カスタムデフォルトでリセット</u> 左記のバーコードをスキャンすると、カスタムデフォルト値でリセットします。	
		<u>ニックネームを設定</u> <sup>1</sup> 左記のバーコードをスキャンした後、6桁~10桁のコード39でコードされたバーコードを読み取ると、そのバーコードの内容が、ニックネームとして、フラッシュROMに保存されます。 デフォルトは、0000000000です。	
		<u>Ultra Scanデコーディングがオン(デフォルト)</u> 左記のバーコードをスキャンすると、Ultra Scanデコーディングがオンになります。	
		<u>Ultra Scanデコーディングがオフ</u> 左記のバーコードをスキャンすると、Ultra Scanデコーディングがオフになります。	
 		<u>アウトオブストック・ローハイシフトがオン(デフォルト)</u> 左記のバーコードをスキャンすると、ローシフトがオンになります。 WN5528 = コード 39 WN4303 = NW7	
 		<u>アウトオブストック・ローハイシフトがオフ</u> 左記のバーコードをスキャンすると、ローシフトがオフになります。 WN5538 = コード 39 WN4301 = NW7	
		<u>バー/スキャン幅シフト ノーマル(デフォルト)</u>	
		<u>バー/スキャン幅シフト ストリクト</u>	
		<u>USBファームウェアアップグレードモード</u> 左記のバーコードをスキャンすると、USBファームウェアアップグレードモードに移行します。	

<sup>1</sup> ニックネームは、バージョンリダの個体識別などに利用できます。シリアル番号などを登録しておき、シリアルコマンドを使用して、その値を取得します。  
また、シリアルコマンドを使用することで、1桁~10桁のニックネームを設定することも可能です。詳しくは、「補足 c シリアルコマンド」を参照ください。

### 3. 一般動作に関するパラメータ

#### 3.1. グットリードビーブの音色

設定開始  * - - *	設定キャンセル  * + + *	設定終了  * + - *
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * G R 0 5 *	無音(ビーブ無し) (*)低・中・高音設定で復帰します。	
 * G R 0 2 *	低音	
 * G R 0 1 *	中音	■
 * G R 0 3 *	高音	
 * T B D 1 *	ビーブパターンA (SSH65L ONLY)	■ (SSH65L)
 * T B D 2 *	ビーブパターンB (SSH65L ONLY)	
 * T B D 3 *	ビーブパターンC (SSH65L ONLY)	
 * T B D 4 *	ビーブパターンD (SSH65L ONLY)	




#### 3.2. グットリードビーブの長さ

設定開始  * - - *	設定キャンセル  * + + *	設定終了  * + - *
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * G R 1 3 *	5 ミリ秒	
 * G R 1 2 *	20 ミリ秒	
 * G R 1 1 *	50 ミリ秒	■
 * G R 1 0 *	100 ミリ秒	
 * G R 1 4 *	200 ミリ秒	
 * G R 1 5 *	500 ミリ秒	



### 3.4. グットリッドビープの音量

設定開始 	設定キャンセル 	設定終了 
---	--	---

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * G R 2 2 *	小	
 * G R 2 1 *	中	
 * G R 2 0 *	大	■




### 3.5. グットリッドビープ & グットリッド LED の出力タイミング

設定開始 	設定キャンセル 	設定終了 
---	--	---

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * L B 0 0 *	データ送信後	■
 * L B 0 1 *	データ送信前	

### 3.6. グットリッドバイブレーション(パイプ搭載モデルのみ)

設定開始 	設定キャンセル 	設定終了 
---	--	---

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * V B 0 0 *	グットリッドバイブレーション無し	■
 * V B 0 1 *	グットリッドバイブレーション有り/グットリッドビープ無し	
 * V B 0 2 *	グットリッドバイブレーション有り/グットリッドビープ有り	△ (出荷設定)

SSH65V/SSH65LV などパイプレーション搭載モデルは、弊社出荷時、「グットリッドバイブレーション有り/グットリッドビープ有り」の設定を行っております。



### 3.7. グットリードバリエーションタイム(ハイ搭載モデルのみ)

設定開始  * - - *	設定キャンセル  * + + *	設定終了  * + - *
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * V B 1 0 *	100 ミリ秒	
 * V B 1 1 *	200 ミリ秒	■
 * V B 1 2 *	300 ミリ秒	
 * V B 1 3 *	400 ミリ秒	
 * V B 1 4 *	500 ミリ秒	
 * V B 1 5 *	1 秒	


### 3.8. パワーアップヒープ

設定開始  * - - *	設定キャンセル  * + + *	設定終了  * + - *
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * L B 0 4 *	無し	
 * L B 0 3 *	有り	■

### 3.9. パワーセーブモード (TS-131M/Z-5111 ONLY)





設定開始  * - - *	設定キャンセル  * + + *	設定終了  * + - *
--	---	--




コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * M T O 0 *	パワーセーブモード OFF (無し)	■
 * M T O 1 *	5 分後にパワーセーブモードへ移行	
 * M T O 2 *	10 分後にパワーセーブモードへ移行	
 * M T O 3 *	20 分後にパワーセーブモードへ移行	
 * M T O 4 *	30 分後にパワーセーブモードへ移行	
 * M T O 5 *	60 分後にパワーセーブモードへ移行	
 * M T 1 2 *	トリガーによるスキャン終了毎にパワーセーブモードへ移行	

## 4. 読み取り動作に関するパラメータ

### 4.1. 読み取りモード

設定開始  * - - *	設定キャンセル  * + + *	設定終了  * + - *
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * S M O 1 *	<u>トリガモード</u> トリガボタンを押している間、スキャンを試みます。バーコードの読み取りに成功するか、トリガボタンを離すと、スキャンを終了します。	■
 * S M O 2 *	<u>オートスキャンモード</u> 常にスキャンを試みます。バーコードの読み取りが、フラッシュモード移行タイマー内にバーコードが読み取られない場合は、フラッシュモードに移行します。	■ (TS-30) (Z-5130)
 * S M O 4 *	<u>オルタネイトモード<sup>2</sup></u> トリガボタンを一度押すと、スキャンモードとなり、再度トリガボタンを押すと、スキャンを終了します。	
 * S M O 5 *	<u>リピートモード</u> オートスキャンモードと基本的に同じ動作をしますが、同一バーコードにビームを照射させた状態で、トリガボタンを押すことで、同一バーコードの連続読み取りが可能になります。	

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * S M 1 2 *	<u>プレゼンテーションモード<sup>3</sup></u> オートスタンドの有無にかかわらず、常にバーコードを自動検知してスキャンします。	
 * S M 2 0 *	<u>オートスタンドモード<sup>4</sup></u> オートスタンドにセットすると、バーコードを自動検知してスキャンします。オートスタンドから取り外すと、トリガボタンを押して、ハンドスキャナとして利用することも可能です。	■
 * S M 2 1 *	<u>ハンドスキャナモード</u> トリガボタンを押して、スキャンします。	

<sup>2</sup> TS-30/Z-5130 は、オルタネイトモードに対応していません。

<sup>3</sup> AID-3001/SSHC65/ultra-3220 は、対応していません。

<sup>4</sup> AID-3001/SSHC65/ultra-3220 は、対応していません。

## 4.2. トリガモード読み取りタイマー









設定開始  * - - *	設定キャンセル  * + + *	設定終了  * + - *
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * T R 0 0 *	トリガを押している間(レザモード)	■
 * T R 0 1 *	1 秒	
 * T R 0 2 *	2 秒	
 * T R 0 3 *	3 秒	
 * T R 0 4 *	4 秒	
 * T R 0 5 *	5 秒	
 * T R 0 6 *	6 秒	
 * T R 0 7 *	7 秒	
 * T R 0 8 *	8 秒	
 * T R 0 9 *	9 秒	
 * T R 1 0 *	10 秒	






### 4.3. オートスキャンモード フラッシュク 移行タイマ-

設定開始  * - - *	設定キャンセル  * + + *	設定終了  * + - *
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * L S 0 0 *	無し	■ (SSH65)
 * L S 0 1 *	1 秒	
 * L S 0 2 *	3 秒	
 * L S 0 3 *	5 秒	■
 * L S 0 4 *	10 秒	
 * L S 0 5 *	20 秒	
 * L S 0 6 *	25 秒	
 * L S 0 7 *	30 秒	




















### 4.4. オートスキャンモード フラッシュク 速度(SSHC65 ONLY)

設定開始  * - - *	設定キャンセル  * + + *	設定終了  * + - *
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * F T O 1 *	高速	
 * F T O 0 *	中速	■
 * F T O 2 *	低速	




#### 4.5. 同一バーコード読み取り防止タイマー

設定開始  * - - *	設定キャンセル  * + + *	設定終了  * + - *
--	---	--

コマンドバーコード		
50 ミリ秒  * S D 0 1 *	100 ミリ秒  * S D 0 2 *	200 ミリ秒  * S D 0 3 *
300 ミリ秒  * S D 0 4 *	400 ミリ秒  * S D 0 5 *	500 ミリ秒 (■)  * S D 0 6 *
600 ミリ秒  * S D 0 7 *	700 ミリ秒  * S D 0 8 *	800 ミリ秒  * S D 0 9 *
1 秒  * S D 1 1 *	1.5 秒  * S D 1 3 *	2 秒  * S D 1 4 *
2.5 秒  * S D 1 5 *	3 秒  * S D 1 6 *	3.5 秒  * S D 1 7 *
4 秒  * S D 1 8 *	4.5 秒  * S D 1 9 *	5 秒  * S D 2 0 *
無限  * S D 1 2 *		

#### 4.6. テストモードボタンの機能割り付け(TS-30 /Z-5130 ONLY)

設定開始  * - - *	設定キャンセル  * + + *	設定終了  * + - *
--	---	--






コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * S T O 1 *	テストモードボタン & トリガボタンとして機能 テストモードボタンを押すと、トリガボタンとして機能します。続けて2度(約1秒以内)テストモードボタンを押すと、テストモードに移行します。テストモードで動作している時に、再度テストモードボタンを押すと、通常の動作に復帰します。	
 * S T O 2 *	テストモードボタンとして機能 テストモードボタンはテストモードへの切り替えボタンとして機能します。約2秒間テストモードボタンを押し続けると、テストモードへ移行します。テストモードで動作している時に、再度テストモードボタンを押すと、通常の動作に復帰します。	■
 * S T O 3 *	トリガボタンとして機能 テストモードボタンはトリガボタンとして機能します。	

✓ TS-30/Z-5130 は電源立ち上げ後、1秒間設定バーコードを受付けます。設定を間違い、読み取りモードに入る手段がない場合は、TS-30/Z-5130の電源を再立ち上げし、1秒以内に設定開始バーコードを読み取り、設定の変更を行ってください。

## 5. インタフェースに関するパラメータ

### 5.1. インタフェースの選択

設定開始  * - - *	設定キャンセル  * + + *	設定終了  * + - *
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * K E 8 7 *	USB ホスト COM インタフェース (USB-COM)	
 * K E 9 7 *	USB キーボード インタフェース (USB-HID)	
 * K E 7 7 *	USB OPOS インタフェース	
 * K E 9 9 *	RS232C インタフェース	
 * K E 0 1 *	キーボード インタフェース	

✓ USB ホスト COM (USB-COM) ドライバ (INF ファイル) は、弊社 WEB サイト [www.e-welcom.com](http://www.e-welcom.com) よりダウンロードしていただけます。

✓ バーコードスキャナを OPOS で利用する場合は、下記の設定を行ってください。









RS232C OPOS	コマンド ID 送信有り
USB OPS	コマンド ID 送信無し

P.42 「7.3. コマンド ID 送信」を合わせて参照ください。

## 5.2. RS232 インターフェイス




### 5.2.1. ボーレート

設定開始  * - - *	設定キャンセル  * + + *	設定終了  * + - *
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * B R 0 9 *	115,200bps	
 * B R 0 8 *	57,600bps	
 * B R 0 0 *	38,400bps	
 * B R 0 1 *	19,200bps	
 * B R 0 2 *	9,600bps	■
 * B R 0 3 *	4,800bps	
 * B R 0 4 *	2,400bps	
 * B R 0 5 *	1,200bps	



### 5.2.2. パリティ

設定開始  * - - *	設定キャンセル  * + + *	設定終了  * + - *
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * P B 0 1 *	偶数	
 * P B 0 2 *	奇数	
 * P B 0 5 *	無し	■



### 5.2.3. データビット

設定開始  * - - *	設定キャンセル  * + + *	設定終了  * + - *
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * D B 0 7 *	7ビット	
 * D B 0 8 *	8ビット	■



### 5.2.4. ストップビット

設定開始  * - - *	設定キャンセル  * + + *	設定終了  * + - *
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * S B 0 1 *	1ビット	■
 * S B 0 2 *	2ビット	

### 5.2.5. BEL 受信動作

設定開始  * - - *	設定キャンセル  * + + *	設定終了  * + - *
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * L B 0 8 *	BEL(0x07)受信でビープ鳴動無し	
 * L B 0 7 *	BEL(0x07)受信でビープ鳴動有り	■








## 5.2.6. ハンドシェイク

設定開始  * - - *	設定キャンセル  * + + *	設定終了  * + - *
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * H P 0 1 *	無し	■
 * H P 0 2 *	ACK/NAK	
 * H P 0 3 *	XON/XOFF	
 * H P 0 4 *	RTS/CTS データ外ディ	
 * H P 1 5 *	RTS/CTS スキャルディ (一部の機種のみサポートしています)	




## 5.2.7. ACK/NAK 応答待ちタイマー

設定開始  * - - *	設定キャンセル  * + + *	設定終了  * + - *
---	--	---

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * R T 0 1 *	300 ミリ秒	■
 * R T 0 3 *	500 ミリ秒	
 * R T 0 5 *	1 秒	
 * R T 0 2 *	2 秒	
 * R T 0 4 *	3 秒	
 * R T 0 6 *	5 秒	
 * R T 0 7 *	無限	

## 5.2.8. アルファベット大文字/小文字変換送信

設定開始  * - - *	設定キャンセル  * + + *	設定終了  * + - *
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * C P 2 0 *	無し	■
 * C P 2 1 *	全て大文字に変換	
 * C P 2 2 *	全て小文字に変換	

## 5.2.9. ヘッダ/ターミネータ

設定開始  * - - *	設定キャンセル  * + + *	設定終了  * + - *
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * D T 1 1 *	ヘッダ 無し ターミネータ 無し	
 * D T 1 2 *	ヘッダ 無し ターミネータ <CR><LF>	■
 * D T 1 3 *	ヘッダ 無し ターミネータ <CR>	
 * D T 1 4 *	ヘッダ 無し ターミネータ <LF>	
 * D T 1 5 *	ヘッダ 無し ターミネータ <TAB>	
 * D T 1 6 *	ヘッダ <STX> ターミネータ <ETX>	
 * D T 1 7 *	ヘッダ 無し ターミネータ <EOT>	

### データ送信フォーマット




ヘッダ	プリフィックス	コード ID	桁数(2桁)	読取データ	ポストフィックス	ターミネータ
-----	---------	--------	--------	-------	----------	--------

ヘッダ/プリフィックス/コード ID/桁数/ポストフィックス/ターミネータは、何れも送信無しに設定することも可能です。

## 5.3. USB キーボード & キーボード インターフェイス




### 5.3.1. USB 送信速度

設定開始  * - - *	設定キャンセル  * + + *	設定終了  * + - *
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * U S B 0 *	低速	■
 * U S B 1 *	高速	
 * U S B 2 *	中速	



### 5.3.2. キーボードタイプ

設定開始  * - - *	設定キャンセル  * + + *	設定終了  * + - *
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * K L O 0 *	ALT モード	
 * K L O 1 *	英語キーボード (101/104 キーボード)	■
 * K L 1 5 *	日本語キーボード (106/109 キーボード)	

### 5.3.3. CAPS ロック状態



設定開始  * - - *	設定キャンセル  * + + *	設定終了  * + - *
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * C P O 0 *	CAPS ロック オフ	
 * C P O 1 *	CAPS ロック オン	■





### 5.3.4. ファンクション-エミュレーション

設定開始  * - - *	設定キャンセル  * + + *	設定終了  * + - *
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * C P 0 6 *	無し	■
 * C P 0 5 *	有り	




### 5.3.5. 数字データ送信方法

設定開始  * - - *	設定キャンセル  * + + *	設定終了  * + - *
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * C P 1 8 *	キーボード送信	■
 * C P 1 9 *	テンキーボード送信	




### 5.3.6. アルファベット大文字/小文字変換送信

設定開始  * - - *	設定キャンセル  * + + *	設定終了  * + - *
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * C P 2 0 *	無し	■
 * C P 2 1 *	全て大文字に変換	
 * C P 2 2 *	全て小文字に変換	

### 5.3.7. ハットターミネータ

設定開始  * - - *	設定キャンセル  * + + *	設定終了  * + - *
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * D T 0 1 *	ハット 無し ターミネータ 無し	
 * D T 0 2 *	ハット 無し ターミネータ Enter キー	■
 * D T 0 3 *	ハット 無し ターミネータ TAB キー	

#### データ送信フォーマット











ハット	プリフィックス	コード ID	桁数(2桁)	読取データ	ポストフィックス	ターミネータ
-----	---------	--------	--------	-------	----------	--------

ハット / プリフィックス / コード ID / 桁数 / ポストフィックス / ターミネータは、何れも送信無しに設定することも可能です。



## 6. バーコードシボルに関するパラメータ

### 6.1. コダバー(NW7)

設定開始  * - - *	設定キャンセル  * + + *	設定終了  * + - *
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 *RD02*	読み取り無し	
 *RC02*	読み取り有り	■
 *CB05*	スタート/ストップキャラクタ送信無し	
 *CB06*	スタート/ストップキャラクタ送信有り ABCD/ABCD	■
 *CB07*	スタート/ストップキャラクタ送信有り DC1~DC4/DC1~DC4	
 *CB08*	スタート/ストップキャラクタ送信有り abcd/tn*e	
 *CB13*	チェックビット検査(mod 16)無し	■
 *CB14*	チェックビット検査(mod 16)有り, 送信無し	
 *CB15*	チェックビット検査(mod 16)有り, 送信有り	
 *CB11*	連結無し	■
 *CB12*	連結有り	
 *DC50*	照合回数 0	■
 *DC51*	照合回数 1	
 *DC52*	照合回数 2	
 *DC53*	照合回数 3	
 *WN3300*	追加チェック無し	■
 *WN338A*	追加チェック 10回	
 *WN3394*	追加チェック 20回	
 *WN33B2*	追加チェック 50回	
 *WN33E4*	追加チェック 100回	

設定開始  * - - *	設定キャンセル  * + + *	設定終了  * + - *
--	---	--

マトリクスコード	説明	デフォルト
 * C B 1 0 *	<b>読取最小桁数</b> 左のマトリクスコードをスキャンした後、続けて下記の数値マトリクスコードで2桁の数値をスキャンし、最後に設定終了マトリクスコードをスキャンします。設定範囲は01~32です。例えば、6桁に設定したい場合は、「設定開始」「読取最小桁数」「0」「6」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	6
 * C B 0 9 *	<b>読取最大桁数</b> 左のマトリクスコードをスキャンした後、続けて下記の数値マトリクスコードで2桁の数値をスキャンし、最後に設定終了マトリクスコードをスキャンします。設定範囲は01~32です。例えば、6桁に設定したい場合は、「設定開始」「読取最大桁数」「3」「2」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	32



数値マトリクスコード	
0  * 0 *	1  * 1 *
2  * 2 *	3  * 3 *
4  * 4 *	5  * 5 *
6  * 6 *	7  * 7 *
8  * 8 *	9  * 9 *
確定  * S E T *	



## 6.2. コード 39/コード 32(イタリアファーマコード)

設定開始  * - - *	設定キャンセル  * + + *	設定終了  * + - *
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * R D 0 1 *	読み取り無し	
 * R C 0 1 *	読み取り有り	■
 * R D 1 3 *	コード 32(イタリアファーマコード)読み取り無し	■
 * R C 1 3 *	コード 32(イタリアファーマコード)読み取り有り	
 * 3 9 0 1 *	ルアスキー読み取り無し	■
 * 3 9 0 2 *	ルアスキー読み取り有り	
 * 3 9 0 4 *	スタート/ストップキャラクタ送信無し	■
 * 3 9 0 3 *	スタート/ストップキャラクタ送信有り	
 * 3 9 0 7 *	チェックビット検査無し	■
 * 3 9 0 6 *	チェックビット検査有り, 送信無し	
 * 3 9 0 5 *	チェックビット検査有り, 送信有り	
 * 3 9 1 1 *	連結無し	■
 * 3 9 1 0 *	連結有り	
 * 3 9 1 3 *	コード 32(イタリアファーマコード)A送信無し	■
 * 3 9 1 2 *	コード 32(イタリアファーマコード)A送信有り	
 * D C 0 0 *	照合回数 0	■
 * D C 0 1 *	照合回数 1	
 * D C 0 2 *	照合回数 2	
 * D C 0 3 *	照合回数 3	








設定開始  * - - *	設定キャンセル  * + + *	設定終了  * + - *
--	---	--

マトリクスコード	説明	デフォルト
 * 3 9 0 9 *	<b>読取最小桁数</b> 左のマトリクスコードをスキャンした後、続けて下記の数値マトリクスコードで2桁の数値をスキャンし、最後に設定終了マトリクスコードをスキャンします。設定範囲は01~32です。例えば、3桁に設定したい場合は、「設定開始」「読取最小桁数」「0」「3」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	3
 * 3 9 0 8 *	<b>読取最大桁数</b> 左のマトリクスコードをスキャンした後、続けて下記の数値マトリクスコードで2桁の数値をスキャンし、最後に設定終了マトリクスコードをスキャンします。設定範囲は01~32です。例えば、6桁に設定したい場合は、「設定開始」「読取最大桁数」「3」「2」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	32

数値マトリクスコード	
0  * 0 *	1  * 1 *
2  * 2 *	3  * 3 *
4  * 4 *	5  * 5 *
6  * 6 *	7  * 7 *
8  * 8 *	9  * 9 *
確定  * S E T *	



### 6.3. コード 93<sup>5</sup>

設定開始  * - - *	設定キャンセル  * + + *	設定終了  * + - *
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * R D 0 8 *	読み取り無し	
 * R C 0 8 *	読み取り有り	■
 * 9 3 0 3 *	チェックビット検査無し	■
 * 9 3 0 4 *	チェックビット検査有り, 送信無し	
 * 9 3 0 5 *	チェックビット検査有り, 送信有り	
 * D C 3 0 *	照合回数 0	■
 * D C 3 1 *	照合回数 1	
 * D C 3 2 *	照合回数 2	
 * D C 3 3 *	照合回数 3	

<sup>5</sup> TS-30 (Ver. 2.18 以降) は、対応していません。

設定開始  * - - *	設定キャンセル  * + + *	設定終了  * + - *
--	---	--


















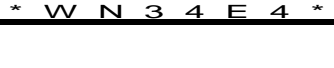
マトリクスコード	説明	デフォルト
 * 9 3 0 2 *	<b>読取最小桁数</b> 左のマトリクスコードをスキャンした後、続けて下記の数値マトリクスコードで2桁の数値をスキャンし、最後に設定終了マトリクスコードをスキャンします。設定範囲は01~32です。例えば、3桁に設定したい場合は、「設定開始」「読取最小桁数」「0」「3」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	3
 * 9 3 0 1 *	<b>読取最大桁数</b> 左のマトリクスコードをスキャンした後、続けて下記の数値マトリクスコードで2桁の数値をスキャンし、最後に設定終了マトリクスコードをスキャンします。設定範囲は01~32です。例えば、6桁に設定したい場合は、「設定開始」「読取最大桁数」「3」「2」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	32

数値マトリクスコード	
0  * 0 *	1  * 1 *
2  * 2 *	3  * 3 *
4  * 4 *	5  * 5 *
6  * 6 *	7  * 7 *
8  * 8 *	9  * 9 *
確定  * S E T *	





## 6.4. コード 128/GS1-128(EAN-128)

設定開始  * 0 0 0 0 *	設定キャンセル  * + + *	設定終了  * + - *
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 *RD06*	読み取り無し	
 *RC06*	読み取り有り	■
 *RD10*	GS1-128 (EAN-128) 読み取り無し	■
 *RC10*	GS1-128 (EAN-128) 読み取り有り	
 *1803*	チェックサム検査無し	
 *1804*	チェックサム検査有り, 送信無し	■
 *1805*	チェックサム検査有り, 送信有り	
 *1802*	FNC2 連結無し	■
 *1801*	FNC2 連結有り	
 *DC40*	照合回数 0	■
 *DC41*	照合回数 1	
 *DC42*	照合回数 2	
 *DC43*	照合回数 3	
 *WN3400*	追加チェック無し	■
 *WN348A*	追加チェック 10 回	
 *WN3494*	追加チェック 20 回	
 *WN34B2*	追加チェック 50 回	
 *WN34E4*	追加チェック 100 回	

設定開始  * - - *	設定キャンセル  * + + *	設定終了  * + - *
--	---	--

マトリクスコード	説明	デフォルト
 * 1 8 0 7 *	<b>読取最小桁数</b> 左のマトリクスコードをスキャンした後、続けて下記の数値マトリクスコードで2桁の数値をスキャンし、最後に設定終了マトリクスコードをスキャンします。設定範囲は01~32です。例えば、3桁に設定したい場合は、「設定開始」「読取最小桁数」「0」「3」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	3
 * 1 8 0 6 *	<b>読取最大桁数</b> 左のマトリクスコードをスキャンした後、続けて下記の数値マトリクスコードで2桁の数値をスキャンし、最後に設定終了マトリクスコードをスキャンします。設定範囲は01~32です。例えば、6桁に設定したい場合は、「設定開始」「読取最大桁数」「3」「2」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	32

数値マトリクスコード	
0  * 0 *	1  * 1 *
2  * 2 *	3  * 3 *
4  * 4 *	5  * 5 *
6  * 6 *	7  * 7 *
8  * 8 *	9  * 9 *
確定  * S E T *	



## 6.5. チャイホーストコード<sup>6</sup>

設定開始  * - - *	設定キャンセル  * + + *	設定終了  * + - *
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * R D 0 5 *	読み取り無し	■
 * R C 0 5 *	読み取り有り	
 * S Z 0 3 *	チェックビット検査無し	■
 * S Z 0 5 *	チェックビット検査有り, 送信無し	
 * S Z 0 4 *	チェックビット検査有り, 送信有り	
 * D C 6 0 *	照合回数 0	■
 * D C 6 1 *	照合回数 1	
 * D C 6 2 *	照合回数 2	
 * D C 6 3 *	照合回数 3	

<sup>6</sup> TS-30 (Ver. 2.18 以降) は、対応していません。

設定開始  * - - *	設定キャンセル  * + + *	設定終了  * + - *
--	---	--

マトリクスコード	説明	デフォルト
 * S Z O 2 *	<b>読取最小桁数</b> 左のマトリクスコードをスキャンした後、続けて下記の数値マトリクスコードで2桁の数値をスキャンし、最後に設定終了マトリクスコードをスキャンします。設定範囲は01~32です。例えば、8桁に設定したい場合は、「設定開始」「読取最小桁数」「0」「8」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	8
 * S Z O 1 *	<b>読取最大桁数</b> 左のマトリクスコードをスキャンした後、続けて下記の数値マトリクスコードで2桁の数値をスキャンし、最後に設定終了マトリクスコードをスキャンします。設定範囲は01~32です。例えば、6桁に設定したい場合は、「設定開始」「読取最大桁数」「3」「2」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	32

数値マトリクスコード	
0  * 0 *	1  * 1 *
2  * 2 *	3  * 3 *
4  * 4 *	5  * 5 *
6  * 6 *	7  * 7 *
8  * 8 *	9  * 9 *
確定  * S E T *	



## 6.6. MSI/Plessey バーコード<sup>7</sup>



設定開始  * - - *	設定キャンセル  * + + *	設定終了  * + - *
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * R D 1 4 *	読み取り無し	■
 * R C 1 4 *	読み取り有り	
 * M S 0 4 *	2 チェックビット検査無し, 送信無し	
 * M S 0 3 *	2 チェックビット検査有り, 送信無し	■
 * M S 0 5 *	2 チェックビット検査有り, 第 1 チェックビットのみ送信有り	
 * M S 0 6 *	2 チェックビット検査有り, 2 チェックビット送信無し	
 * M S 0 7 *	1 チェックビット検査有り, 送信無し	
 * M S 0 8 *	1 チェックビット検査有り, 送信有り	
 * D C 7 0 *	照合回数 0	■
 * D C 7 1 *	照合回数 1	
 * D C 7 2 *	照合回数 2	
 * D C 7 3 *	照合回数 3	

<sup>7</sup> TS-30 (Ver. 2.18 以降), SSHC65/65L は、対応していません。



設定開始  * - - *	設定キャンセル  * + + *	設定終了  * + - *
--	---	--

マトリクスコード	説明	デフォルト
 * M S O 2 *	<b>読取最小桁数</b> 左のマトリクスコードをスキャンした後、続けて下記の数値マトリクスコードで2桁の数値をスキャンし、最後に設定終了マトリクスコードをスキャンします。設定範囲は01~32です。例えば、6桁に設定したい場合は、「設定開始」「読取最小桁数」「0」「6」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	6
 * M S O 1 *	<b>読取最大桁数</b> 左のマトリクスコードをスキャンした後、続けて下記の数値マトリクスコードで2桁の数値をスキャンし、最後に設定終了マトリクスコードをスキャンします。設定範囲は01~32です。例えば、6桁に設定したい場合は、「設定開始」「読取最大桁数」「3」「2」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	32

数値マトリクスコード	
0  * 0 *	1  * 1 *
2  * 2 *	3  * 3 *
4  * 4 *	5  * 5 *
6  * 6 *	7  * 7 *
8  * 8 *	9  * 9 *
確定  * S E T *	

## 6.7. インターリーブド 2/5











設定開始  * - - *	設定キャンセル  * + + *	設定終了  * + - *
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * R D 0 4 *	読み取り無し	
 * R C 0 4 *	読み取り有り	■
 * I T 0 3 *	チェックビット検査無し	■
 * I T 0 4 *	チェックビット検査有り, 送信無し	
 * I T 0 5 *	チェックビット検査有り, 送信有り	
 * D C 8 0 *	照合回数 0	■
 * D C 8 1 *	照合回数 1	
 * D C 8 2 *	照合回数 2	
 * D C 8 3 *	照合回数 3	

設定開始  * - - *	設定キャンセル  * + + *	設定終了  * + - *
--	---	--

マトリクスコード	説明	デフォルト
 * 1 T 0 2 *	<b>読取最小桁数</b> 左のマトリクスコードをスキャンした後、続けて下記の数値マトリクスコードで2桁の数値をスキャンし、最後に設定終了マトリクスコードをスキャンします。設定範囲は01~32です。例えば、6桁に設定したい場合は、「設定開始」「読取最小桁数」「0」「6」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	6
 * 1 T 0 1 *	<b>読取最大桁数</b> 左のマトリクスコードをスキャンした後、続けて下記の数値マトリクスコードで2桁の数値をスキャンし、最後に設定終了マトリクスコードをスキャンします。設定範囲は01~32です。例えば、6桁に設定したい場合は、「設定開始」「読取最大桁数」「3」「2」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	32
 * 1 T 0 6 *	<b>固定桁数①</b> 左のマトリクスコードをスキャンした後、続けて下記の数値マトリクスコードで2桁の数値をスキャンし、最後に設定終了マトリクスコードをスキャンします。設定範囲は01~32です。例えば、6桁に設定したい場合は、「設定開始」「固定桁数①」「0」「6」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。無効にする場合は、00を設定します。	00
 * 1 T 0 7 *	<b>固定桁数②</b> 左のマトリクスコードをスキャンした後、続けて下記の数値マトリクスコードで2桁の数値をスキャンし、最後に設定終了マトリクスコードをスキャンします。設定範囲は01~32です。例えば、6桁に設定したい場合は、「設定開始」「固定桁数②」「3」「2」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。無効にする場合は、00を設定します。	00

数値マトリクスコード

0  * 0 *	1  * 1 *
2  * 2 *	3  * 3 *
4  * 4 *	5  * 5 *
6  * 6 *	7  * 7 *
8  * 8 *	9  * 9 *



















確定





## 6.8. インターストリアル 2/5

設定開始  * - - *	設定キャンセル  * + + *	設定終了  * + - *
--	---	--

























コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * R D 2 1 *	読み取り無し	■
 * R C 2 1 *	読み取り有り	
 * D 2 5 3 *	チェックビット検査無し	■
 * D 2 5 5 *	チェックビット検査有り, 送信無し	
 * D 2 5 4 *	チェックビット検査有り, 送信有り	
 * D 2 5 2 *	<b>読取最小桁数</b> 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の数値バーコードで2桁の数値をスキャンし、最後に設定終了バーコードをスキャンします。設定範囲は01~32です。例えば、6桁に設定したい場合は、「設定開始」「読取最小桁数」「0」「6」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	6
 * D 2 5 1 *	<b>読取最大桁数</b> 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の数値バーコードで2桁の数値をスキャンし、最後に設定終了バーコードをスキャンします。設定範囲は01~32です。例えば、6桁に設定したい場合は、「設定開始」「読取最大桁数」「3」「2」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	32
数値バーコード		
0  * 0 *	1  * 1 *	
2  * 2 *	3  * 3 *	
4  * 4 *	5  * 5 *	
6  * 6 *	7  * 7 *	
8  * 8 *	9  * 9 *	
確定  * S E T *		

## 6.9. JAN/EAN/UPC

設定開始  * - - *	設定キャンセル  * + + *	設定終了  * + - *
--	---	--



















コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * R D 0 3 *	JAN/EAN/UPC 読み取り無し	
 * R C 0 3 *	JAN/EAN/UPC 読み取り有り	■
 * U E 0 1 *	JAN/EAN/UPC 全種読み取り有り	■
 * U E 0 2 *	JAN/EAN-8, JAN/EAN-13 読み取り有り	
 * U E 0 3 *	UPC-A, JAN/EAN-13 読み取り有り	
 * U E 0 4 *	UPC-A, UPC-E 読み取り有り	
 * U E 0 5 *	UPC-A 読み取り有り	
 * U E 0 6 *	UPC-E 読み取り有り	
 * U E 0 7 *	JAN/EAN-13 読み取り有り	
 * U E 0 8 *	JAN/EAN-8 読み取り有り	
 * U E 0 9 *	アドコード 読み取り無し	■
 * U E 1 1 *	アドコード 2 コード のみ読み取り有り	
 * U E 1 0 *	アドコード 5 コード のみ読み取り有り	
 * U E 1 2 *	アドコード 2, 5 コード 両方読み取り有り	
 * U E 3 2 *	アドコード 必須 (強制) 読み取り無し	■
 * U E 3 3 *	アドコード 必須 (強制) 読み取り有り	
 * U E 1 4 *	UPC-E → UPC-A 変換無し	■
 * U E 1 3 *	UPC-E → UPC-A 変換有り	
 * U E 1 6 *	UPC-A → EAN-13 変換無し	■
 * U E 1 5 *	UPC-A → EAN-13 変換有り	
 * U E 4 5 *	EAN-8 → EAN-13 変換無し	■

設定開始  * - - *	設定キャンセル  * + + *	設定終了  * + - *
--	---	--

 * U E 4 4 *	EAN-8 → EAN-13 変換有り		
 * R D 1 1 *	EAN → ISSN/ISBN 変換無し	■	
 * R C 1 1 *	EAN → ISSN/ISBN 変換有り		
 * U E 1 8 *	UPC-A チップデータ送信無し		
 * U E 1 7 *	UPC-A チップデータ送信有り	■	
 * U E 2 2 *	UPC-E チップデータ送信無し		
 * U E 2 1 *	UPC-E チップデータ送信有り	■	
 * U E 2 4 *	JAN/EAN-8 チップデータ送信無し		
 * U E 2 3 *	JAN/EAN-8 チップデータ送信有り	■	
 * U E 2 6 *	JAN/EAN-13 チップデータ送信無し		
 * U E 2 5 *	JAN/EAN-13 チップデータ送信有り	■	
 * U E 2 0 *	UPC-E 先頭桁送信無し		
 * U E 1 9 *	UPC-E 先頭桁送信有り	■	
 * U E 2 8 *	UPC-A 先頭桁送信無し		
 * U E 2 7 *	UPC-A 先頭桁送信有り	■	
 * U E 6 1 *	EAN-13 先頭 0 (カトリード) 送信無し	■	
 * U E 6 0 *	EAN-13 先頭 0 (カトリード) 送信有り		
 * U E 3 1 *	アドカトリードデータ送信無し	■	
 * U E 3 0 *	アドカトリードデータ送信有り		
 * U E 4 3 *	新雑誌コード (491) アドカ 5 読み取り有り		
照合無し (■)  * D C 2 0 *	照合 1 回  * D C 2 1 *	照合 2 回  * D C 2 2 *	照合 3 回  * D C 2 3 *

## 6.10. COOP 2/5(NEC 2/5)

設定開始  * - - *	設定キャンセル  * + + *	設定終了  * + - *
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * R D 1 2 *	読み取り無し	■
 * R C 1 2 *	読み取り有り	
 * D 1 5 3 *	チェックディジット(Mod 10 ウィット3)検査無し	■
 * D 1 5 5 *	チェックディジット(Mod 10 ウィット3)検査有り, 送信無し	
 * D 1 5 4 *	チェックディジット(Mod 10 ウィット3)検査有り, 送信有り	
 * D 1 5 2 *	読取最小桁数 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の数値バーコードで2桁の数値をスキャンし、最後に設定終了バーコードをスキャンします。設定範囲は01~32です。例えば、6桁に設定したい場合は、「設定開始」「読取最小桁数」「0」「6」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	6
 * D 1 5 1 *	読取最大桁数 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の数値バーコードで2桁の数値をスキャンし、最後に設定終了バーコードをスキャンします。設定範囲は01~32です。例えば、6桁に設定したい場合は、「設定開始」「読取最大桁数」「3」「2」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	32
数値バーコード		
0  * 0 *	1  * 1 *	
2  * 2 *	3  * 3 *	
4  * 4 *	5  * 5 *	
6  * 6 *	7  * 7 *	
8  * 8 *	9  * 9 *	
確定  * S E T *		

## 7. データフォーマットデータ送信に関するパラメータ




### 7.1. キャラクタ間送信デレイ<sup>8</sup>

設定開始 	設定キャンセル 	設定終了 
---	--	---

コマンドバーコード	説明	デフォルト
	無し	■
	5 ミリ秒	
	10 ミリ秒	
	20 ミリ秒	
	50 ミリ秒	
	100 ミリ秒	

### 7.2. メッセージ間送信デレイ



設定開始 	設定キャンセル 	設定終了 
---	--	---

コマンドバーコード	説明	デフォルト
	無し	■
	100 ミリ秒	
	500 ミリ秒	
	1 秒	

<sup>8</sup> USB イタ-フェイスには適用されません。

## 7.3. コード ID 送信

設定開始  * - - *	設定キャンセル  * + + *	設定終了  * + - *
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * I S O 0 *	無し	■
 * I S O 1 *	有り(標準コード ID)	

バーコードシンボル	標準コード ID
コード 39	M
インタリーブド 2/5	I
インターストリアル 2/5	D
チャイホーストコード	H
UPC-A	A
UPC-E	E
JAN/EAN-13	F
JAN/EAN-8	FF
コードバー(NW7)	N
コード 128	K
コード 93	L
MSI/PLESSEY	P
COOP 2/5	G
GS1 Databar	RS
GS1 Databar リミテッド	RL
GS1 Databar Iクスバレット	RX

### データ送信フォーマット

ヘッダ	プリフィックス	コード ID	桁数(2桁)	読取データ	ポストフィックス	ターミネータ
-----	---------	--------	--------	-------	----------	--------

ヘッダ / プリフィックス / コード ID / 桁数 / ポストフィックス / ターミネータは、何れも送信無しに設定することも可能です。

## 7.4. ユーザーコード ID

設定開始  * - - *	設定キャンセル  * + + *	設定終了  * + - *
--	---	--



下記のバーコードタイプをスキャンした後、フルスキーマーコード表(本書 補足 B)から 1~2 文字をスキャンし、最後に確定コードバーコードをスキャンして、任意のコード ID を設定します。

コード 39  * C I 0 1 *	インタリーブド 2/5  * C I 0 2 *
チャイボーストコード  * C I 0 3 *	UPC-E  * C I 0 4 *
UPC-A  * C I 0 5 *	JAN/EAN-13  * C I 0 6 *
JAN/EAN-8  * C I 0 7 *	コーダバ (NW7)  * C I 0 8 *
コード 128  * C I 0 9 *	コード 93  * C I 1 0 *
MSI コード  * C I 1 1 *	COOP 2/5  * C I 1 8 *
インターストリアル 2/5  * C I 1 5 *	GS1 Databar  * C I 1 2 *
GS1 Databar リミット  * C I 1 3 *	GS1 Databar インクソケット  * C I 1 4 *

✓ ユーザーコード ID の設定は、「7.3.コード ID 送信」を有りに設定した後、行ってください。「7.3.コード ID 送信」を有りに設定すると標準コード ID で初期化が行われます。

## 7.5. フリックスホストフリックス

設定開始 	設定キャンセル 	設定終了 
---	--	---

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * H T O 1 *	<b>フリックス</b> 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けてフルアスキーバーコード表(本書補足B)から1~10文字をスキャンし、最後に確定コマンドバーコードをスキャンして、任意のフリックスを設定します。	
 * H T O 2 *	<b>ホストフリックス</b> 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けてフルアスキーバーコード表(本書補足B)から1~10文字をスキャンし、最後に確定コマンドバーコードをスキャンして、任意のホストフリックスを設定します。	



### データ送信フォーマット

ハッタ	フリックス	コード ID	桁数(2桁)	読取データ	ホストフリックス	ターミネータ
-----	-------	--------	--------	-------	----------	--------

ハッタ / フリックス / コード ID / 桁数 / ホストフリックス / ターミネータは、何れも送信無しに設定することも可能です。

## 7.6. 桁数送信

設定開始 	設定キャンセル 	設定終了 
---	--	---

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * C P 1 2 *	無し	■
 * C P 1 1 *	有り	

### データ送信フォーマット

ハッタ	フリックス	コード ID	桁数(2桁)	読取データ	ホストフリックス	ターミネータ
-----	-------	--------	--------	-------	----------	--------

ハッタ / フリックス / コード ID / 桁数 / ホストフリックス / ターミネータは、何れも送信無しに設定することも可能です。



## 7.7. データ抽出






設定開始  * - - *	設定キャンセル  * + + *	設定終了  * + - *
--	---	--

コマンドバースト	説明	デフォルト
 * H T O 3 *	<b>前方データ削除桁数</b> 左のコマンドバーストをスキャンした後、続けて下記の数値バーストで2桁の数値をスキャンし、最後に設定終了バーストをスキャンします。設定範囲は01~32です。例えば、読取データの先頭3桁を削除したい場合は、「設定開始」「前方データ削除桁数」「0」「3」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	
 * H T O 4 *	<b>後方データ削除桁数</b> 左のコマンドバーストをスキャンした後、続けて下記の数値バーストで2桁の数値をスキャンし、最後に設定終了バーストをスキャンします。設定範囲は01~32です。例えば、読取データの先頭3桁を削除したい場合は、「設定開始」「後方データ削除桁数」「0」「3」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	
数値バースト		
0  * 0 *	1  * 1 *	
2  * 2 *	3  * 3 *	
4  * 4 *	5  * 5 *	
6  * 6 *	7  * 7 *	
8  * 8 *	9  * 9 *	
確定  * S E T *		

## 8. 拡張機能<sup>9</sup>

### 8.1. GS1-128 拡張オプション

設定開始 	設定キャンセル 	設定終了 
---	--	---

コマンドバーコード	説明	デフォルト
	lcl 送信無し	
	lcl 送信有り	■
	<b>GS1-128/GS1 Databar 共通設定</b> フィールドセパレータ GS (FNC1) 送信無し	■
	<b>GS1-128/GS1 Databar 共通設定</b> フィールドセパレータ GS (FNC1) 送信有り	
	<b>フィールドセパレータ GS 置換キャラクタ</b> 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けてASCIIバーコード表(本書補足B)から1~2文字をスキャンし、最後に確定コマンドバーコードをスキャンして、任意のフィールドセパレータGS置換キャラクタを設定します。	GS(1Dh)

### 8.2. GS1 Databar 読み取りオプション

#### 8.2.1. GS1 Databar 読み取りオプション

設定開始 	設定キャンセル 	設定終了 
---	--	---

コマンドバーコード	説明	デフォルト
	読み取り無し	■
	読み取り有り GS1 Databar Omnidirectional GS1 Databar Truncated GS1 Databar Stacked GS1 Databar Stacked Omnidirectional	
	チェックビット送信無し	
	チェックビット送信有り	■
	アプリケーションID(01)送信無し	
	アプリケーションID(01)送信有り	■
	lcl 送信無し	■
	lcl 送信有り	

<sup>9</sup> AID-3000(02)/3001(02)/3010(02)及びZ-5111/5130でのみ使用可能な拡張機能です。









### 8.2.2. GS1 Databar リミット 読み取りオプション

設定開始  * - - *	設定キャンセル  * + + *	設定終了  * + - *
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * R D 1 6 *	読み取り無し	■
 * R C 1 6 *	読み取り有り GS1 Databar Limited	
 * S S 1 1 *	チェックシート送信無し	
 * S S 1 0 *	チェックシート送信有り	■
 * S S 1 3 *	アプリケーション ID(01)送信無し	
 * S S 1 2 *	アプリケーション ID(01)送信有り	■







### 8.2.3. GS1 Databar Expanded リミット 読み取りオプション

設定開始  * - - *	設定キャンセル  * + + *	設定終了  * + - *
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * R D 1 7 *	読み取り無し	■
 * R C 1 7 *	読み取り有り GS1 Databar Expanded GS1 Databar Expanded Stacked	
 * S S 0 9 *	チェックシート送信無し	
 * S S 0 8 *	チェックシート送信有り	■
 * S S 1 7 *	アプリケーション ID(01)送信無し	
 * S S 1 6 *	アプリケーション ID(01)送信有り	■
 * S S 0 6 *	IC1 送信無し	■
 * S S 0 7 *	IC1 送信有り	

### 8.3. GS1 Databar 拡張オプション

設定開始  * 1 8 2 4 *	設定キャンセル  * + + *	設定終了  * + - *
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * 1 8 2 4 *	lcl/le0 送信無し	■
 * 1 8 2 5 *	lcl 送信有り SS05/SS07 コマンドとは別に動作します。	
 * 1 8 2 6 *	le0 送信有り SS05/SS07 コマンドとは別に動作します。	
 * 1 8 2 1 *	<u>GS1-128/GS1 Databar 共通設定</u> フィールドセパレータ GS (FNC1) 送信無し	■
 * 1 8 2 0 *	<u>GS1-128/GS1 Databar 共通設定</u> フィールドセパレータ GS (FNC1) 送信有り	
 * 1 8 2 3 *	<u>フィールドセパレータ GS 置換キャラクタ</u> 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けてASCIIバーコード表(本書補足B)から1~2文字をスキャンし、最後に確定コマンドバーコードをスキャンして、任意のフィールドセパレータGS置換キャラクタを設定します。	GS(1Dh)

## 8.4. 利用者限定機能<sup>10</sup>

利用者限定機能を使用することで、登録された利用者だけにバーコードをスキャンさせることができます。最初に利用者コードをスキャンし、そのコードが登録された利用者コードであれば、バーコードリーダは通常の動作状態となります。利用者コード再読取タイマーで設定された時間、アイドル状態が続くと、再度利用者コードの入力が求められ、登録されている利用者コード以外が読み取られた場合は、アイビープ「ピリリリ！」が鳴動します。

設定開始  * - - *	設定キャンセル  * + + *	設定終了  * + - *
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * + W M 1 *	利用者限定機能無し	■
 * + W M 0 *	利用者限定機能有り	
 * + W S A *	利用者コード登録 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けてIA00で始まるコード39で作成したバーコードをスキャンします。例えば、IA00TAROというバーコードの場合、TAROが利用者コードとして登録されます。1~28桁の利用者コードが使用でき、約30件の利用者コードをメモリに登録することができます。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">                     利用者コード登録用                        * IA00TARO *                        * IA00JIRO *                 </div> <div style="text-align: center;">                     利用者コード                        * TARO *                        * JIRO *                 </div> </div>	
 * + W M 9 *	利用者コード前件削除	
 * + W T 0 *	利用者コード再読取タイマー無し	
 * + W T 1 *	利用者コード再読取タイマー 1分	
 * + W T 2 *	利用者コード再読取タイマー 3分	■
 * + W T 3 *	利用者コード再読取タイマー 5分	
 * + W T 4 *	利用者コード再読取タイマー 10分	
 * + W T 5 *	利用者コード再読取タイマー 20分	
 * + W T 6 *	利用者コード再読取タイマー 30分	
 * + W T 7 *	利用者コード再読取タイマー 60分	

<sup>10</sup> ultra-3220 シーエスは、対応していません。

## 8.5. 1:1 照合機能

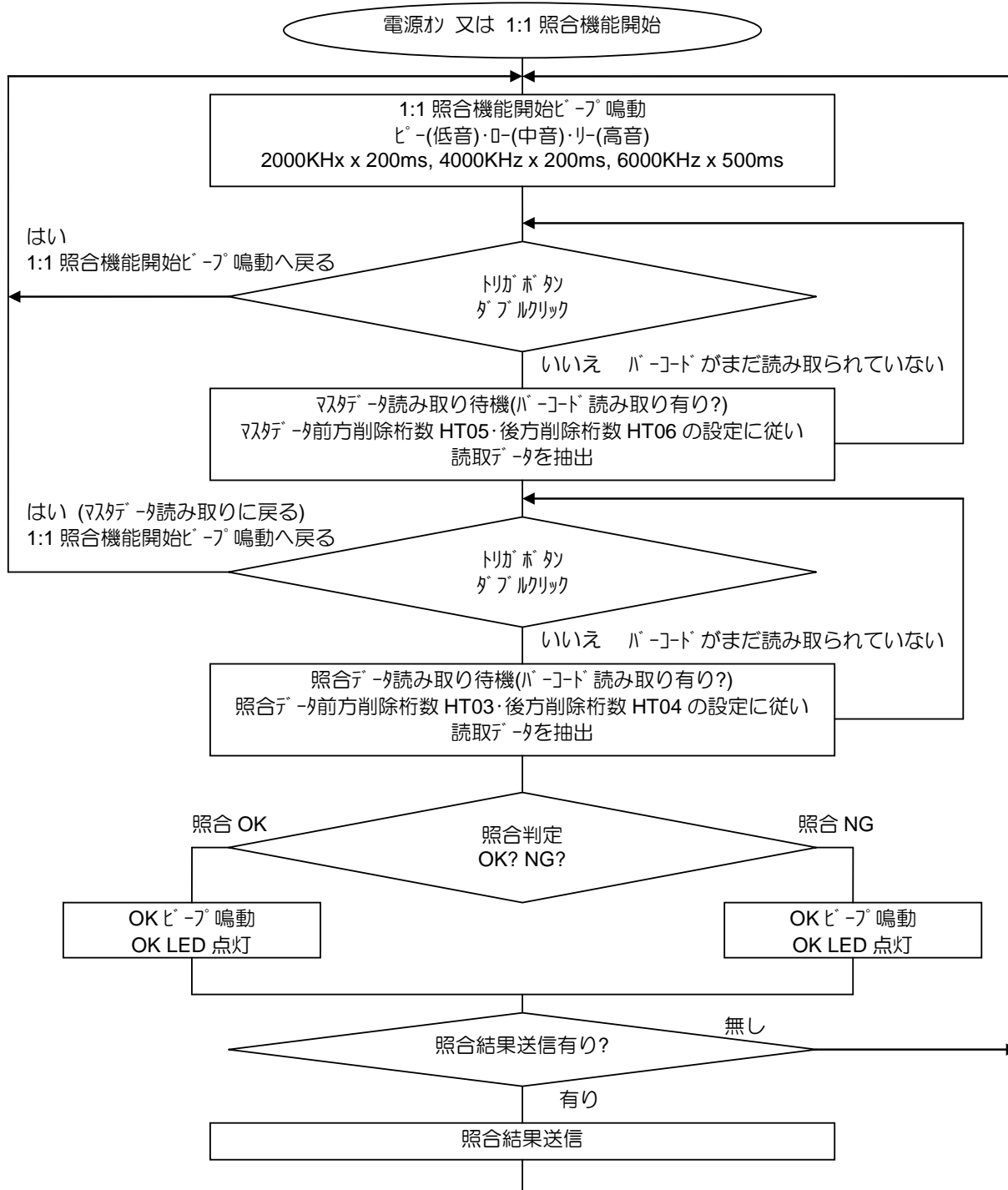
1:1 照合機能は、最初に読み取ったバコードと次に読み取ったコードを照合し、OK/NG の判定を行う機能です。OK/NG それぞれにビープ音色・鳴動時間及び LED 点灯回数・点灯時間を設定できるため、オペレータは PC の画面を確認することなく作業を行うことが可能です。また、照合結果送信有りに設定することで、照合結果を PC に送信することができます。送信フォーマットは下記の通りです。

### 照合結果送信フォーマット




ハット	プリフィックス	マスタバコード	照合結果 フィールドセパレータ	照合データ	照合結果 フィールドセパレータ	結果 NG/OK	ポストフィックス	ターミネータ
-----	---------	---------	--------------------	-------	--------------------	-------------	----------	--------

ハット / プリフィックス / ポストフィックス / ターミネータは、何れも送信無しに設定することも可能です。























### 1:1 照合機能動作フローチャート



設定開始  * - - *	設定キャンセル  * + + *	設定終了  * + - *
--	---	--






















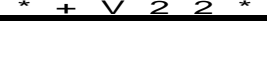
コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * + W I 1 *	1:1 照合機能無し	■
 * + W I 0 *	1:1 照合機能有り	
 * + W S 0 *	照合結果フィルタセレクト 左のコマンドバーコードをスキップした後、続けてASCIIバーコード表(本書補足c)から1文字をスキップし、最後に確定コマンドバーコードをスキップして、任意の照合結果フィルタセレクトを設定します。	, (2Ch)
 * H T 0 5 *	マスター前方削除桁数	0
 * H T 0 6 *	マスター後方削除桁数	0
 * H T 0 3 *	照合データ前方削除桁数 P.45 「7.7 データ抽出」と共通です。	0
 * H T 0 4 *	照合データ後方削除桁数 P.45 「7.7 データ抽出」と共通です。	0
数値バーコード		
0  * 0 *	1  * 1 *	
2  * 2 *	3  * 3 *	
4  * 4 *	5  * 5 *	
6  * 6 *	7  * 7 *	
8  * 8 *	9  * 9 *	
確定  * S E T *		

設定開始  * - - *	設定キャンセル  * + + *	設定終了  * + - *
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * + W 1 5 *	1:1 照合結果送信無し	
 * + W 1 4 *	1:1 照合結果送信有り	■
 * + S 1 1 *	照合結果 OK LED 1 回点灯	■
 * + S 1 2 *	照合結果 OK LED 2 回点灯	
 * + S 1 3 *	照合結果 OK LED 3 回点灯	
 * + S 1 4 *	照合結果 OK LED 4 回点灯	
 * + S 1 5 *	照合結果 OK LED 5 回点灯	
 * + S 2 1 *	照合結果 OK LED 点灯時間 100 ミリ秒	
 * + S 2 2 *	照合結果 OK LED 点灯時間 200 ミリ秒	
 * + S 2 3 *	照合結果 OK LED 点灯時間 300 ミリ秒	■
 * + S 2 4 *	照合結果 OK LED 点灯時間 400 ミリ秒	
 * + S 2 5 *	照合結果 OK LED 点灯時間 500 ミリ秒	
 * + V 1 0 *	照合結果 OK バイブレーション無し(バーコード搭載モデルのみ)	■ (SSH65V)
 * + V 1 1 *	照合結果 OK バイブレーション有り(バーコード搭載モデルのみ)	
 * + V 1 2 *	照合結果 OK バイブレーション時間 100 ミリ秒(バーコード搭載モデルのみ)	
 * + V 1 3 *	照合結果 OK バイブレーション時間 200 ミリ秒(バーコード搭載モデルのみ)	■ (SSH65V)
 * + V 1 4 *	照合結果 OK バイブレーション時間 300 ミリ秒(バーコード搭載モデルのみ)	
 * + V 1 5 *	照合結果 OK バイブレーション時間 500 ミリ秒(バーコード搭載モデルのみ)	
 * + V 1 6 *	照合結果 OK バイブレーション時間 1 秒(バーコード搭載モデルのみ)	
 * + V 1 7 *	照合結果 OK バイブレーション時間 3 秒(バーコード搭載モデルのみ)	
 * + V 1 8 *	照合結果 OK バイブレーション時間 5 秒(バーコード搭載モデルのみ)	
 * + V 1 9 *	照合結果 OK バイブレーション時間 トリガ 押下迄(バーコード搭載モデルのみ)	



設定開始  * - - *	設定キャンセル  * + + *	設定終了  * + - *
--	---	--

 * + S 3 0 *	照合結果 OK ビュー 音色 無し	
 * + S 3 1 *	照合結果 OK ビュー 音色 低音	
 * + S 3 2 *	照合結果 OK ビュー 音色 中音	
 * + S 3 3 *	照合結果 OK ビュー 音色 高音	■
 * + S 2 1 *	照合結果 OK ビュー 鳴動時間 100 ミリ秒	
 * + S 2 2 *	照合結果 OK ビュー 鳴動時間 200 ミリ秒	
 * + S 2 3 *	照合結果 OK ビュー 鳴動時間 300 ミリ秒	
 * + S 2 4 *	照合結果 OK ビュー 鳴動時間 400 ミリ秒	
 * + S 2 5 *	照合結果 OK ビュー 鳴動時間 500 ミリ秒	■
 * + S 5 1 *	照合結果 NG LED 1 回点灯	
 * + S 5 2 *	照合結果 NG LED 2 回点灯	
 * + S 5 3 *	照合結果 NG LED 3 回点灯	■
 * + S 5 4 *	照合結果 NG LED 4 回点灯	
 * + S 5 5 *	照合結果 NG LED 5 回点灯	
 * + S 6 1 *	照合結果 NG LED 点灯時間 100 ミリ秒	
 * + S 6 2 *	照合結果 NG LED 点灯時間 200 ミリ秒	
 * + S 6 3 *	照合結果 NG LED 点灯時間 300 ミリ秒	■
 * + S 6 4 *	照合結果 NG LED 点灯時間 400 ミリ秒	
 * + S 6 5 *	照合結果 NG LED 点灯時間 500 ミリ秒	
 * + V 2 0 *	照合結果 NG バックトリガー無し (バック搭載モデルのみ)	■ (SSH65V)
 * + V 2 1 *	照合結果 NG バックトリガー有り (バック搭載モデルのみ)	
 * + V 2 2 *	照合結果 NG バックトリガー時間 100 ミリ秒 (バック搭載モデルのみ)	

設定開始  * + - *	設定キャンセル  * + + *	設定終了  * + - *
--	---	--

 * + V 2 3 *	照合結果 NG バリコードリーダ時間 200 ミリ秒 (バリコード搭載モデルのみ)	
 * + V 2 4 *	照合結果 NG バリコードリーダ時間 300 ミリ秒 (バリコード搭載モデルのみ)	
 * + V 2 5 *	照合結果 NG バリコードリーダ時間 500 ミリ秒 (バリコード搭載モデルのみ)	
 * + V 2 6 *	照合結果 NG バリコードリーダ時間 1 秒 (バリコード搭載モデルのみ)	
 * + V 2 7 *	照合結果 NG バリコードリーダ時間 3 秒 (バリコード搭載モデルのみ)	
 * + V 2 8 *	照合結果 NG バリコードリーダ時間 5 秒 (バリコード搭載モデルのみ)	
 * + V 2 9 *	照合結果 NG バリコードリーダ時間 トリガ 押下迄 (バリコード搭載モデルのみ)	■ (SSH65V)
 * + S 7 0 *	照合結果 NG バリコードリーダ 音色 無し	
 * + S 7 1 *	照合結果 NG バリコードリーダ 音色 低音	■
 * + S 7 2 *	照合結果 NG バリコードリーダ 音色 中音	
 * + S 7 3 *	照合結果 NG バリコードリーダ 音色 高音	
 * + S 8 1 *	照合結果 NG バリコードリーダ 鳴動時間 100 ミリ秒	
 * + S 8 2 *	照合結果 NG バリコードリーダ 鳴動時間 200 ミリ秒	
 * + S 8 3 *	照合結果 NG バリコードリーダ 鳴動時間 300 ミリ秒	
 * + S 8 4 *	照合結果 NG バリコードリーダ 鳴動時間 400 ミリ秒	
 * + S 8 5 *	照合結果 NG バリコードリーダ 鳴動時間 500 ミリ秒	■

## 8.6. マスタ照合機能

マスタ照合機能は、事前にマスタデータとしてメモリに登録されたバーコードと実際に読み取ったコードを照合し、OK/NGの判定を行う機能です。

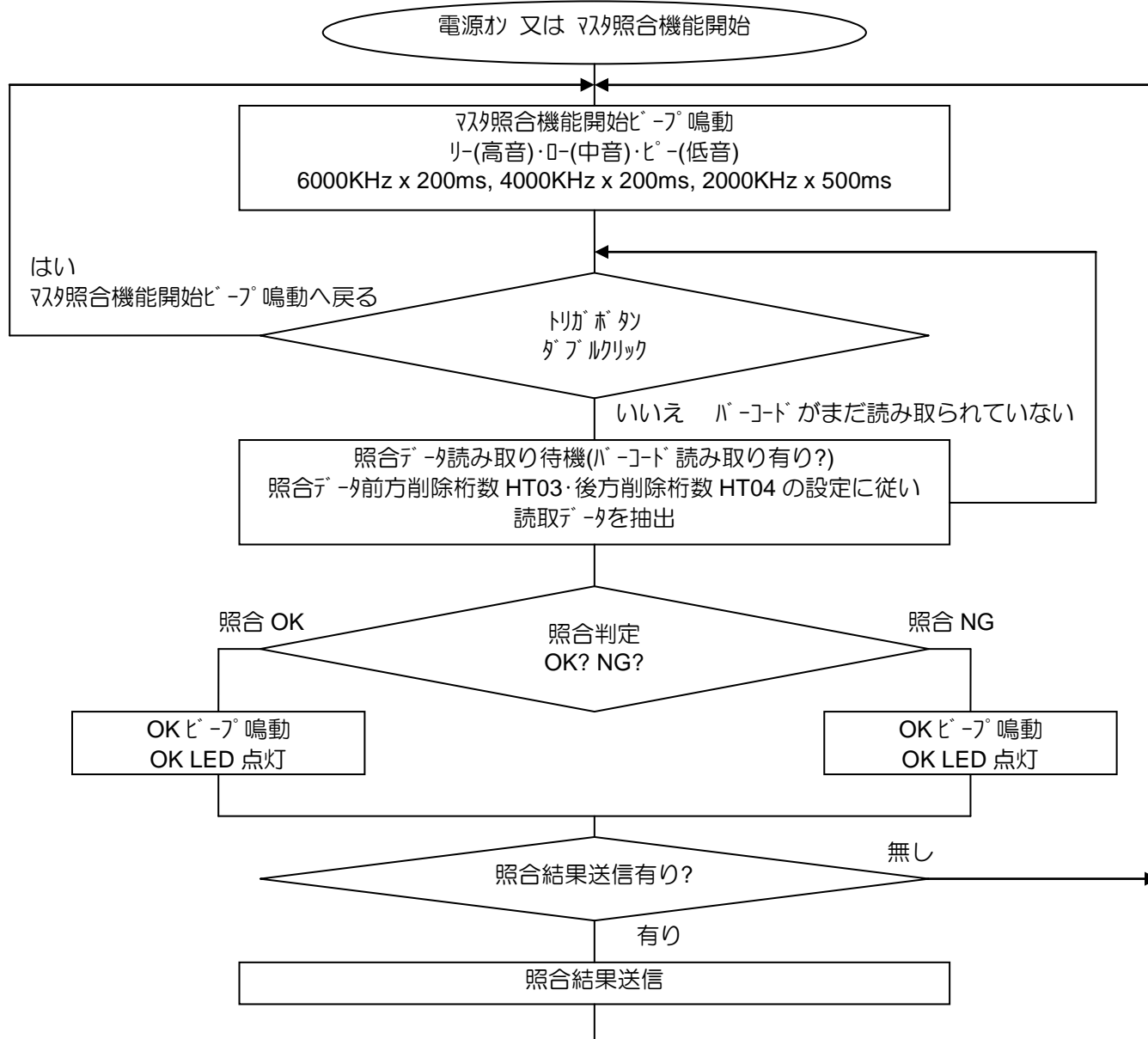
OK/NG それぞれにビープ音色・鳴動時間及びLED点灯回数・点灯時間を設定できるため、オペレータはPCの画面を確認することなく作業を行うことが可能です。また、照合結果送信有りに設定することで、照合結果をPCに送信することができます。送信フォーマットは下記の通りです。

照合結果送信フォーマット












ハット	プリフィックス	照合データ	照合結果 フィールドセパレータ	結果 NG/OK	ポストフィックス	ターミネータ
-----	---------	-------	--------------------	-------------	----------	--------

ハット / プリフィックス / ポストフィックス / ターミネータは、何れも送信無しに設定することも可能です。























### マスタ照合機能動作フローチャート

























設定開始  * - - *	設定キャンセル  * + + *	設定終了  * + - *
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * + W 1 3 *	マスタ照合機能無し	■
 * + W 1 2 *	マスタ照合機能有り	
 * + W 1 9 *	マスタ全件削除	
 * + W S B *	マスタ登録 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けてマスタとして登録したいバーコードをスキャンして、最後に設定終了コマンドバーコードをスキャンします。約 30 件のマスタをメモリに登録することができます。	
 * + W S 0 *	照合結果フィールドセパレータ 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けてフルアスキーバーコード表(本書補足 B)から 1 文字をスキャンし、最後に確定コマンドバーコードをスキャンして、任意の照合結果フィールドセパレータを設定します。	, (2Ch)
 * H T 0 5 *	マスタ前方削除桁数	0
 * H T 0 6 *	マスタ後方削除桁数	0
 * H T 0 3 *	照合データ前方削除桁数 P.45 「7.7 データ抽出」と共通です。	0
 * H T 0 4 *	照合データ後方削除桁数 P.45 「7.7 データ抽出」と共通です。	0
数値バーコード		
0  * 0 *	1  * 1 *	
2  * 2 *	3  * 3 *	
4  * 4 *	5  * 5 *	
6  * 6 *	7  * 7 *	
8  * 8 *	9  * 9 *	
確定  * S E T *		

















設定開始  * - - *	設定キャンセル  * + + *	設定終了  * + - *
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * + W 1 7 *	マシ照合結果送信 無し	
 * + W 1 6 *	マシ照合結果送信 有り	■
 * + M 1 1 *	照合結果 OK LED 1 回点灯	■
 * + M 1 2 *	照合結果 OK LED 2 回点灯	
 * + M 1 3 *	照合結果 OK LED 3 回点灯	
 * + M 1 4 *	照合結果 OK LED 4 回点灯	
 * + M 1 5 *	照合結果 OK LED 5 回点灯	
 * + M 2 1 *	照合結果 OK LED 点灯時間 100 ミ秒	
 * + M 2 2 *	照合結果 OK LED 点灯時間 200 ミ秒	
 * + M 2 3 *	照合結果 OK LED 点灯時間 300 ミ秒	■
 * + M 2 4 *	照合結果 OK LED 点灯時間 400 ミ秒	
 * + M 2 5 *	照合結果 OK LED 点灯時間 500 ミ秒	
 * + V 3 0 *	照合結果 OK バイレーション 無し (ハイ搭載モデルのみ)	■ (SSH65V)
 * + V 3 1 *	照合結果 OK バイレーション 有り (ハイ搭載モデルのみ)	
 * + V 3 2 *	照合結果 OK バイレーション時間 100 ミ秒 (ハイ搭載モデルのみ)	
 * + V 3 3 *	照合結果 OK バイレーション時間 200 ミ秒 (ハイ搭載モデルのみ)	■ (SSH65V)
 * + V 3 4 *	照合結果 OK バイレーション時間 300 ミ秒 (ハイ搭載モデルのみ)	
 * + V 3 5 *	照合結果 OK バイレーション時間 500 ミ秒 (ハイ搭載モデルのみ)	
 * + V 3 6 *	照合結果 OK バイレーション時間 1 秒 (ハイ搭載モデルのみ)	
 * + V 3 7 *	照合結果 OK バイレーション時間 3 秒 (ハイ搭載モデルのみ)	
 * + V 3 8 *	照合結果 OK バイレーション時間 5 秒 (ハイ搭載モデルのみ)	
 * + V 3 9 *	照合結果 OK バイレーション時間 トリガ 押下迄 (ハイ搭載モデルのみ)	

設定開始  * + - *	設定キャンセル  * + + *	設定終了  * + - *
--	---	--

 * + M 3 0 *	照合結果 OK ビーゴ音色 無し	
 * + M 3 1 *	照合結果 OK ビーゴ音色 低音	
 * + M 3 2 *	照合結果 OK ビーゴ音色 中音	
 * + M 3 3 *	照合結果 OK ビーゴ音色 高音	■
 * + M 4 1 *	照合結果 OK ビーゴ鳴動時間 100 ミ秒	
 * + M 4 2 *	照合結果 OK ビーゴ鳴動時間 200 ミ秒	
 * + M 4 3 *	照合結果 OK ビーゴ鳴動時間 300 ミ秒	
 * + M 4 4 *	照合結果 OK ビーゴ鳴動時間 400 ミ秒	
 * + M 4 5 *	照合結果 OK ビーゴ鳴動時間 500 ミ秒	■
 * + M 5 1 *	照合結果 NG LED 1 回点灯	
 * + M 5 2 *	照合結果 NG LED 2 回点灯	
 * + M 5 3 *	照合結果 NG LED 3 回点灯	■
 * + M 5 4 *	照合結果 NG LED 4 回点灯	
 * + M 5 5 *	照合結果 NG LED 5 回点灯	
 * + M 6 1 *	照合結果 NG LED 点灯時間 100 ミ秒	
 * + M 6 2 *	照合結果 NG LED 点灯時間 200 ミ秒	
 * + M 6 3 *	照合結果 NG LED 点灯時間 300 ミ秒	■
 * + M 6 4 *	照合結果 NG LED 点灯時間 400 ミ秒	
 * + M 6 5 *	照合結果 NG LED 点灯時間 500 ミ秒	
 * + V 4 0 *	照合結果 NG バイブレーション 無し (バリブ搭載モデルのみ)	■ (SSH65V)
 * + V 4 1 *	照合結果 NG バイブレーション 有り (バリブ搭載モデルのみ)	
 * + V 4 2 *	照合結果 NG バイブレーション時間 100 ミ秒 (バリブ搭載モデルのみ)	

設定開始  * - - *	設定キャンセル  * + + *	設定終了  * + - *
--	---	--

 * + V 4 3 *	照合結果 NG バックトリガレゾリューション時間 200 ミリ秒 (バック搭載モデルのみ)	
 * + V 4 4 *	照合結果 NG バックトリガレゾリューション時間 300 ミリ秒 (バック搭載モデルのみ)	
 * + V 4 5 *	照合結果 NG バックトリガレゾリューション時間 500 ミリ秒 (バック搭載モデルのみ)	
 * + V 4 6 *	照合結果 NG バックトリガレゾリューション時間 1 秒 (バック搭載モデルのみ)	
 * + V 4 7 *	照合結果 NG バックトリガレゾリューション時間 3 秒 (バック搭載モデルのみ)	
 * + V 4 8 *	照合結果 NG バックトリガレゾリューション時間 5 秒 (バック搭載モデルのみ)	
 * + V 4 9 *	照合結果 NG バックトリガレゾリューション時間 トリガ 押下迄 (バック搭載モデルのみ)	■ (SSH65V)
 * + M 7 0 *	照合結果 NG ビーム音色 無し	
 * + M 7 1 *	照合結果 NG ビーム音色 低音	■
 * + M 7 2 *	照合結果 NG ビーム音色 中音	
 * + M 7 3 *	照合結果 NG ビーム音色 高音	
 * + M 8 1 *	照合結果 NG ビーム鳴動時間 100 ミリ秒	
 * + M 8 2 *	照合結果 NG ビーム鳴動時間 200 ミリ秒	
 * + M 8 3 *	照合結果 NG ビーム鳴動時間 300 ミリ秒	
 * + M 8 4 *	照合結果 NG ビーム鳴動時間 400 ミリ秒	
 * + M 8 5 *	照合結果 NG ビーム鳴動時間 500 ミリ秒	■

## 8.7. バーコード シンボル個別桁数送信

設定開始  * + - *	設定キャンセル  * + + *	設定終了  * + - *
--	---	--




コマンドバーコード	説明	デフォルト
 *+WD0*	JAN/EAN/UPC 桁数送信無し	
 *+WC0*	JAN/EAN/UPC 桁数送信有り	■
 *+WD1*	コード 39 桁数送信無し	
 *+WC1*	コード 39 桁数送信有り	■
 *+WD2*	コード 128 桁数送信無し	
 *+WC2*	コード 128 桁数送信有り	■
 *+WD3*	コードバー (NW7) 桁数送信無し	
 *+WC3*	コードバー (NW7) 桁数送信有り	■
 *+WD4*	コード 93 桁数送信無し	
 *+WC4*	コード 93 桁数送信有り	■
 *+WD5*	MSI 桁数送信無し	
 *+WC5*	MSI 桁数送信有り	■
 *+WD6*	GS1 Databar 桁数送信無し	
 *+WC6*	GS1 Databar 桁数送信有り	■
 *+WD7*	インタリアル 2/5 桁数送信無し	
 *+WC7*	インタリアル 2/5 桁数送信有り	■
 *+WD9*	インターブド 2/5 桁数送信無し	
 *+WC9*	インターブド 2/5 桁数送信有り	■
 *+WD8*	COOP 2/5 (NEC 2/5) 桁数送信無し	
 *+WC8*	COOP 2/5 (NEC 2/5) 桁数送信有り	■

✓バーコードシンボル個別桁数送信を有りにした場合でも、「7.6.桁数送信」が無しに設定されている場合は、全バーコードシンボルの桁数送信は行われません。



## 8.8. ファンクションキー-エミュレーション(新)

設定開始  * - - *	設定キャンセル  * + + *	設定終了  * + - *
--	---	--

コマンドバード	説明	デフォルト
 *CP06*	無し	■
 *CP05*	有り(キボードコード表1)	
 *CP04*	有り(キボードコード表2)	

## 8.9. GS1 AI 編集機能

設定開始  * - - *	設定キャンセル  * + + *	設定終了  * + - *
--	---	--

コマンドバード	説明	デフォルト
 *AI00*	無し	■
 *AI01*	有り	
 *AI05*	<u>一時出力 無し</u> 条件に合わないGS1コードを読み取るとエラー音を鳴動し、データ送信を行いません。	■
 *AI04*	<u>一時出力 有り</u> 条件に合わないGS1コードを読み取ると、読み取ったデータをそのまま送信します。	
 *AI02*	<u>出力モード 切レモード</u> 切レモードに設定した場合は、下記のコマンドバードで定義済み切レを設定するか、次頁の「AI切レ登録」でAI毎に任意の切レ(ハット・フタ)を設定してください。	■
 *AI03*	<u>出力モード (AI)モード</u> (AI)モードに設定した場合は、GS1コードのヒラマツリダブルと同様にAIが( )で囲まれた形でデータ送信されます。	
 *AI23*	定義済み切レ リセット(無し)	
 *AI27*	定義済み切レ カマ(,)	
 *AI24*	定義済み切レ TAB	
 *AI25*	定義済み切レ STX/ETX	

✓GS1 AI 編集機能は、GS1-128 GS1 Databar I/Kパレット共にフィールド切レをデフォルトのGS(1Dh)に設定して使用ください。フィールド切レが正しく認識できないと、GS1 AI 編集機能は、正しく動作しません。

設定開始  * - - *	設定キャンセル  * + + *	設定終了  * + - *
--	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * A I 1 2 *	AI フィールド登録 リセット	
 * A I 1 1 *	AI フィールド登録 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の数値バーコードで AI (2~4桁)、ハジ 4桁 (Hex)・フタ 4桁 (Hex) をスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンし、続けて、次の AI (2桁)、ハジ 4桁 (Hex)・フタ 4桁 (Hex) をスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。同様に続けて、最大 5 個迄の AI・ハジ・フタを登録可能です。例えば、01, 10, 15 と 3 つの AI をそれぞれ STX/ETX で囲んで出力する場合、「設定開始」「AI 登録」「0」「1」「0」「2」「0」「0」「0」「3」「0」「0」「確定」「1」「0」「0」「2」「0」「0」「0」「3」「0」「0」「確定」「1」「5」「0」「2」「0」「0」「0」「3」「0」「0」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。ハジ・フタの 00 は、無しを意味します。	
数値バーコード		
 * 0 *	 * 1 *	 * 2 *
 * 3 *	 * 4 *	 * 5 *
 * 6 *	 * 7 *	 * 8 *
 * 9 *	 * A *	 * B *
 * C *	 * D *	 * E *
 * F *	 * SET *	

✓ GS1 AI 編集機能は、GS1-128 GS1 Databar I/J/K/P/ST 共にフィールドフィールドをデフォルトの GS (1Dh) に設定して使用ください。フィールドフィールドが正しく認識できないと、GS1 AI 編集機能は、正しく動作しません。

## 8.9.1. GS1 AI 編集機能設定例

### AI03 = 出力モード (AI) モード

左から右、上段から下段へ順番にスキャンし、設定を行ってください。インターフェイス設定や読取コードなど GS1 AI 編集機能以外の設定は、別途行ってください。

設定開始  * - - *	GS1 AI 編集機能 有り  * A I O 1 *	出力モード (AI)モード  * A I O 3 *	設定終了  * + - *
--	--	--	--



出力 = (01)19200550240064(10)5000(3303)060580(17)100126<Enter>

### AI02 = 出力モード せりめーたモード /せりめーた カマ(,)

左から右、上段から下段へ順番にスキャンし、設定を行ってください。インターフェイス設定や読取コードなど GS1 AI 編集機能以外の設定は、別途行ってください。

設定開始  * - - *	GS1 AI 編集機能 有り  * A I O 1 *	出力モード せりめーたモード  * A I O 2 *	せりめーた カマ(,)  * A I 2 7 *
設定終了  * + - *			



出力 = 0119200550240064,105000,3303060580,17100126<Enter>

### AI02 = 出力モード せりめーたモード /せりめーた TAB

左から右、上段から下段へ順番にスキャンし、設定を行ってください。インターフェイス設定や読取コードなど GS1 AI 編集機能以外の設定は、別途行ってください。

設定開始  * - - *	GS1 AI 編集機能 有り  * A I O 1 *	出力モード せりめーたモード  * A I O 2 *	せりめーた TAB  * A I 2 4 *
設定終了  * + - *			



出力 = 0119200550240064<TAB>105000<TAB>3303060580<TAB>17100126<Enter>

## AI02 = 出力モード / パラメータ / パラメータ STX/ETX

左から右、上段から下段へ順番にスキャンし、設定を行ってください。インターフェイス設定や読取コードなど GS1 AI 編集機能以外の設定は、別途行ってください。

設定開始  * - - - *	GS1 AI 編集機能 有り  * A I O 1 *	出力モード / パラメータ  * A I O 2 *	パラメータ STX/ETX  * A I 2 5 *
設定終了  * + - *			



(01)19200550240064(10)5000(3303)060580(17)100126

出力 = <STX>0119200550240064<ETX><STX>105000<ETX><STX>3303060580<ETX><STX>17100126<ETX><Enter>

## AI02 = 出力モード / パラメータ / AI11 = 任意 AI パラメータ (ハット #, フット %&)

AI 01/10/15/30/17 で構成される GS1 コードを読み取り、それぞれの AI データの前後に # と %& を付加します。例えば、下記の GS1 コードは、



(01)97847973029746(10)4011(15)080925(30)5000(17)090811

# \$ 97847973029746 % & # \$ 4011 % & # \$ 080925 % & # \$ 5000 % & # \$ 090811 % & <Enter>

と出力されます。

左から右、上段から下段へ順番にスキャンし、設定を行ってください。インターフェイス設定や読取コードなど GS1 AI 編集機能以外の設定は、別途行ってください。

設定開始  * - - - *	GS1 AI 編集機能 有り  * A I O 1 *	出力モード / パラメータ  * A I O 2 *	AI パラメータ  * A I 1 1 *
AI-01  * 0 *	 * 1 *	ハット 1 - #  * 2 *	 * 3 *
ハット 2 - \$  * 2 *	 * 4 *	フット 1 - %  * 2 *	 * 5 *
フット 2 - &  * 2 *	 * 6 *	確定  * S E T *	
AI-10  * 1 *	 * 0 *	ハット 1 - #  * 2 *	 * 3 *
ハット 2 - \$  * 2 *	 * 4 *	フット 1 - %  * 2 *	 * 5 *
フット 2 - &  * 2 *	 * 6 *	確定  * S E T *	

<p>AI-15</p>  <p>* 1 *</p>	 <p>* 5 *</p>	<p>ハッタ 1 - #</p>  <p>* 2 *</p>	 <p>* 3 *</p>
<p>ハッタ 2 - \$</p>  <p>* 2 *</p>	 <p>* 4 *</p>	<p>フッタ 1 - %</p>  <p>* 2 *</p>	 <p>* 5 *</p>
<p>フッタ 2 - &amp;</p>  <p>* 2 *</p>	 <p>* 6 *</p>	<p>確定</p>  <p>* S E T *</p>	
<p>AI-30</p>  <p>* 3 *</p>	 <p>* 0 *</p>	<p>ハッタ 1 - #</p>  <p>* 2 *</p>	 <p>* 3 *</p>
<p>ハッタ 2 - \$</p>  <p>* 2 *</p>	 <p>* 4 *</p>	<p>フッタ 1 - %</p>  <p>* 2 *</p>	 <p>* 5 *</p>
<p>フッタ 2 - &amp;</p>  <p>* 2 *</p>	 <p>* 6 *</p>	<p>確定</p>  <p>* S E T *</p>	
<p>AI-17</p>  <p>* 1 *</p>	 <p>* 7 *</p>	<p>ハッタ 1 - #</p>  <p>* 2 *</p>	 <p>* 3 *</p>
<p>ハッタ 2 - \$</p>  <p>* 2 *</p>	 <p>* 4 *</p>	<p>フッタ 1 - %</p>  <p>* 2 *</p>	 <p>* 5 *</p>
<p>フッタ 2 - &amp;</p>  <p>* 2 *</p>	 <p>* 6 *</p>	<p>確定</p>  <p>* S E T *</p>	
<p>設定終了</p>  <p>* + - *</p>			

## 補足 A. キボードコード表

	0	1	2	3	4	5	6	7
0		キー 5	SP	0	@	P	`	p
1	Insert	F1	!	1	A	Q	a	q
2	Delete	F2	"	2	B	R	b	r
3	Home	F3	#	3	C	S	c	s
4	End	F4	\$	4	D	T	d	t
5	↑	F5	%	5	E	U	e	u
6	↓	F6	&	6	F	V	f	v
7	←	F7	'	7	G	W	g	w
8	Back Space	F8	(	8	H	X	h	x
9	HT/Tab	F9	)	9	I	Y	i	y
A	キー-Enter	F10	*	:	J	Z	j	z
B	→	F11	+	;	K	[	k	{
C	Page Up	F12	,	<	L	¥	l	
D	Enter	ESC	-	=	M	]	m	}
E	Page Down	左 CTRL	.	>	N	^	n	~
F	Shift	右 ALT	/	?	O	_	o	

✓ ファクションミルシヨ 1 を有りに設定した場合、01~1Fhex に対応する網掛け部分のファクションが送信されます。尚、この機能は、キボードインタフェイス及び USB キボードインタフェイスでのみ使用可能です。





















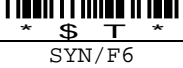
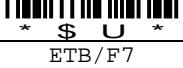
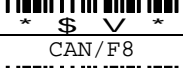
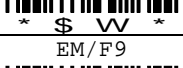
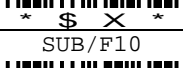

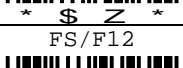
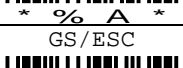
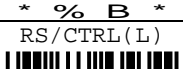
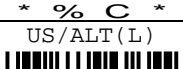
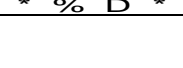
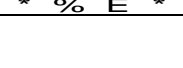

	0	1	2	3	4	5	6	7
0		左 ALT メイ	SP	0	@	P	`	p
1	Insert	F1	!	1	A	Q	a	q
2	Delete	F2	"	2	B	R	b	r
3	Home	F3	#	3	C	S	c	s
4	End	F4	\$	4	D	T	d	t
5	↑	F5	%	5	E	U	e	u
6	↓	F6	&	6	F	V	f	v
7	←	F7	'	7	G	W	g	w
8	Back Space	F8	(	8	H	X	h	x
9	HT/Tab	左 ALT プレク	)	9	I	Y	i	y
A	キー-Enter	左 CTRL メイ	*	:	J	Z	j	z
B	→	左 CTRL プレク	+	;	K	[	k	{
C	Page Up	右 ALT	,	<	L	¥	l	
D	Enter	左 ALT	-	=	M	]	m	}
E	Page Down	右 CTRL	.	>	N	^	n	~
F	Shift	左 CTRL	/	?	O	_	o	

✓ ファクションミルシヨ 2 を有りに設定した場合、01~1Fhex に対応する網掛け部分のファクションが送信されます。尚、この機能は、キボードインタフェイス及び USB キボードインタフェイスでのみ使用可能です。















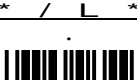





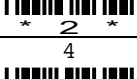














## 補足 B. ASCII コード 表




































ASCII コード 表									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8
0	NUL	DLE	SP	0	@	P	`	p	
1	SOH	DC1	!	1	A	Q	a	q	
2	STX	DC2	"	2	B	R	b	r	
3	ETX	DC3	#	3	C	S	c	s	
4	EOT	DC4	\$	4	D	T	d	t	
5	ENQ	NAK	%	5	E	U	e	u	
6	ACK	SYN	&	6	F	V	f	v	
7	BEL	ETB	'	7	G	W	g	w	
8	BS	CAN	(	8	H	X	h	x	
9	HT	EM	)	9	I	Y	i	y	
A	LF	SUB	*	:	J	Z	j	z	
B	VT	ESC	+	;	K	[	k	{	
C	FF	FS	,	<	L	¥	l		
D	CR	GS	-	=	M	]	m	}	
E	SO	RS	.	>	N	^	n	~	
F	SI	US	/	?	O	_	o	DLE	






























補足 C. ガラスキーボード表

NUL  * % U *	SOH/INSERT  * \$ A *
STX/DELETE  * \$ B *	ETX/HOME  * \$ C *
EOT/END  * \$ D *	ENQ/UP  * \$ E *
ACK/DOWN  * \$ F *	BEL/LEFT  * \$ G *
BS/BACK SPACE  * \$ H *	HT/TAB  * \$ I *
LF/ENTER (NUM)  * \$ J *	VT/RIGHT  * \$ K *
FF/PgUp  * \$ L *	CR/ENTER  * \$ M *
SO/PgDn  * \$ N *	SI/SHIFT  * \$ O *
DLE/5 (NUM)  * \$ P *	DC1/F1  * \$ Q *
DC2/F2  * \$ R *	DC3/F3  * \$ S *
DC4/F4  * \$ T *	NAK/F5  * \$ U *
SYN/F6  * \$ V *	ETB/F7  * \$ W *
CAN/F8  * \$ X *	EM/F9  * \$ Y *
SUB/F10  * \$ Z *	ESC/F11  * % A *
FS/F12  * % B *	GS/ESC  * % C *
RS/CTRL(L)  * % D *	US/ALT(L)  * % E *
確定  * S E T *	



SPACE  * / *	!  * / A *
"  * / B *	#  * / C *
\$  * / D *	%  * / E *
&  * / F *	'  * / G *
(  * / H *	)  * / I *
*  * / J *	+  * / K *
,  * / L *	-  * - *
.  * - *	/  * / O *
0  * 0 *	1  * 1 *
2  * 2 *	3  * 3 *
4  * 4 *	5  * 5 *
6  * 6 *	7  * 7 *
8  * 8 *	9  * 9 *
:  * / Z *	i  * % F *
<  * % G *	=  * % H *
>  * % I *	?  * % J *
@  * % V *	A  * A *
確定  * S E T *	

B  * B *	C  * C *
D  * D *	E  * E *
F  * F *	G  * G *
H  * H *	I  * I *
J  * J *	K  * K *
L  * L *	M  * M *
N  * N *	O  * O *
P  * P *	Q  * Q *
R  * R *	S  * S *
T  * T *	U  * U *
V  * V *	W  * W *
X  * X *	Y  * Y *
Z  * Z *	[  * % K *
¥  * % L *	]  * % M *
^  * % N *	-  * % O *
`  * % W *	a  * + A *
b  * + B *	c  * + C *
確定  * S E T *	

d  * + D *	e  * + E *
f  * + F *	g  * + G *
h  * + H *	i  * + I *
j  * + J *	k  * + K *
l  * + L *	m  * + M *
n  * + N *	o  * + O *
p  * + P *	q  * + Q *
r  * + R *	s  * + S *
t  * + T *	u  * + U *
v  * + V *	w  * + W *
x  * + X *	y  * + Y *
z  * + Z *	{  * % P *
  * % Q *	}  * % R *
~  * % S *	DEL  * % T *
確定  * S E T *	

## 補足 D. シリアルコマンド

### 補足 D.1. トリガコマンド

シリアルコマンド	名称/説明	バージョンリダ 応答例
<ESC>A0<CR>	<u>バトリガコマンド</u> トリガコマンドで読取りを終了します。	<ACK>
<ESC>A1<CR>	<u>トリガコマンド</u> 読取りを終了します。	<ACK>
<ESC>A0.mm<CR> mm = 01~60 設定単位 = 秒	<u>スキャンタイムアウト</u> 指定された時間が経過するか、バージョンの読み取りに成功すると、読取りを終了します。トリガコマンドは必要ありません。	<ACK>
<ESC>A2<CR>	<u>スキャン</u> トリガモードと同じで、バージョンの読み取りに成功すると、読取りを終了します。	<ACK>
<ESC>A2.mm<CR> mm = 01~60 設定単位 秒	<u>トリガコマンド (タイムアウト付)</u> 指定された時間が経過すると、読取りを終了します。トリガコマンドは必要ありません。	<ACK>

- ✓ <ESC>=1Bhex, <CR>=0Dhex, <ACK>=06hex を意味します。
- ✓ RS232C インターフェイスと USB バージョン COM(USB-COM) インターフェイスで使用可能です。

### 補足 D.2. ブザーコマンド

シリアルコマンド	名称/説明	バージョンリダ 応答例
<ESC>B0mm<CR> mm = 00~99 設定単位 100 ミリ秒	<u>低音ブザー鳴動コマンド</u> 指定された時間、低音ブザーを鳴動します。 00 = ブザー停止 99 = ブザー停止 (00) 受信まで低音ブザーを鳴動	<ACK>
<ESC>B1mm<CR> mm = 00~99 設定単位 100 ミリ秒	<u>中音ブザー鳴動コマンド</u> 指定された時間、中音ブザーを鳴動します。 00 = ブザー停止 99 = ブザー停止 (00) 受信まで中音ブザーを鳴動	<ACK>
<ESC>B2mm<CR> mm = 00~99 設定単位 100 ミリ秒	<u>高音ブザー鳴動コマンド</u> 指定された時間、高音ブザーを鳴動します。 00 = ブザー停止 99 = ブザー停止 (00) 受信まで高音ブザーを鳴動	<ACK>

- ✓ <ESC>=1Bhex, <CR>=0Dhex, <ACK>=06hex を意味します。
- ✓ RS232C インターフェイスと USB バージョン COM(USB-COM) インターフェイスで使用可能です。

## 補足 D.3. LED コマンド

シリアルコマンド	名称/説明	バードリーダー 応答例
<ESC>L0mm<CR> mm = 00~99 設定単位 100 ミリ秒	<u>LED 点灯コマンド</u> 指定された時間、LED を点灯します。 00 = LED 消灯停止 99 = LED 消灯(00)受信まで LED を点灯	<ACK>
<ESC>L1mm<CR> mm = 00~99 設定単位 10 ミリ秒	<u>LED 点滅コマンド</u> 指定された間隔で LED を点滅させ、LED 消灯(00)受信で消灯します。 00 = LED 消灯停止	<ACK>

- ✓ <ESC>=1Bhex, <CR>=0Dhex, <ACK>=06hex を意味します。
- ✓ RS232C インターフェイスと USB バードリーダー COM(USB-COM) インターフェイスで使用可能です。

## 補足 D.4. バードレーションコマンド

シリアルコマンド	名称/説明	バードリーダー 応答例
<ESC>V0mm<CR> mm = 00~99 設定単位 100 ミリ秒	<u>LED 点灯コマンド</u> 指定された時間、バードレーションを動作させます。 00 = バードレーション停止 99 = バードレーション停止(00)受信までバードレーションを動作	<ACK>

- ✓ <ESC>=1Bhex, <CR>=0Dhex, <ACK>=06hex を意味します。
- ✓ RS232C インターフェイスと USB バードリーダー COM(USB-COM) インターフェイスで使用可能です。

## 補足 D.5. その他のコマンド

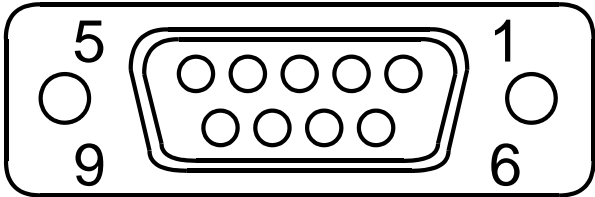
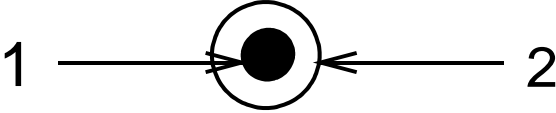
シリアルコマンド	名称/説明	バードリーダー 応答例
<ESC>M<CR>	<u>モデル番号要求コマンド</u> バードリーダーは、このコマンドを受信すると、<ACK>と自信のモデル番号を<CR>を付加して返送します。	<ACK>AID-3000<CR>
<ESC>Nxx<CR>	<u>ニックネーム設定コマンド</u> バードリーダーのニックネームを設定します。xx には、1 桁~10 桁の文字列が指定可能です。設定されたニックネームは、バードリーダーのフラッシュ ROM に保存されるため、電源をオにしても消えることはありません。	<ACK>
<ESC>S<CR>	<u>ニックネーム要求コマンド</u> バードリーダーは、このコマンドを受信すると、<ACK>と自信のニックネームを<CR>を付加して返送します。	<ACK>WELCOM01<CR>

- ✓ <ESC>=1Bhex, <CR>=0Dhex, <ACK>=06hex を意味します。
- ✓ RS232C インターフェイスと USB バードリーダー COM(USB-COM) インターフェイスで使用可能です。

## 補足 E. 標準 RS232C インターフェイスケーブルのピン配列

下記に標準 RS232C インターフェイスケーブルのピン配列及び AC アダプタ用 DC ジャックのピン配列を示します。

標準 RS232C インターフェイスケーブルのピン配列	
<b>D-Sub9 接続</b>	
ピン番号	信号名
2	TxD
3	RxD
5	GND
7	CTS
8	RTS
9	VCC (+5V)
<b>電源接続</b>	
ピン番号	信号名
1	VCC (+5V)
2	GND

補足 F. バーコード

バーコード 39



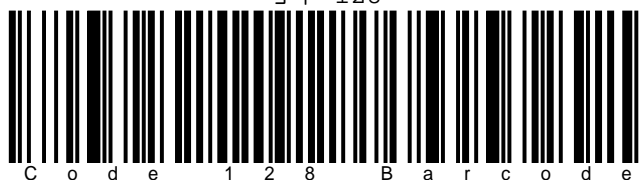
JAN-13



インタープリント 2/5 (ITF)



バーコード 128



GS1-128



GS1 Databar インタープリント



Blank page



## 修理依頼書

修理を依頼される場合は、下記の用紙に必要事項を記入し、修理品と一緒に販売店へご返送ください。尚、修理は全てドットマトリックス方式で行います。現地での出張修理などは一切行いません。

修理依頼書		
依頼日		
会社名		
部署名		
担当者		
メールアドレス		
電話番号	FAX番号	
ご住所		
販売店名	ご購入日	
製品型番 (名称)		
製造番号 (S/N)		
付属品	ケーブル[ ]・ACアダプタ	
<p>トラブルの症状を詳しく記入してください。                      また、症状を確認するために必要なバーコードラベルや磁気カード等があれば、修理品に添付してお送りください。</p>		
<p>症状発生頻度 : <input type="checkbox"/> 常に起こる <input type="checkbox"/> 1日に [ ] 回程度</p> <p>インターフェイス : <input type="checkbox"/> キーボード <input type="checkbox"/> RS232C <input type="checkbox"/> USB</p> <p><input type="checkbox"/> その他 [ ]</p> <p>接続ホスト : メーカー [ ]</p> <p>型番 [ ]</p> <p>その他、使用状況を記入ください。</p>		
返送先		
見積・請求先		
<p>スポットサービス時は、修理見積後に修理をキャンセルされた場合に限り、見積料として弊社所定の料金を申し受けます。ご了承いただける場合は、押印の上、修理品に添付してご返送ください。</p>		ご確認印